

令和 7 年度
青葉区区民意識調査
調査結果報告書
(単純集計)

令和 7 年 9 月
横浜市青葉区

目次

I 調査の概要	3
1. 調査の目的	4
2. 調査の方法	4
3. 調査の項目	4
4. 調査票回収結果	4
5. 集計方法	4
6. 調査結果の見方	5
II 調査の結果	6
1. あなた自身について	7
2. 生活環境・定住意識・区や市への愛着について	13
3. 将来について	20
4. 地域のつながりについて	22
5. 防災・防犯について	30
6. 広報について	34
7. 健康について	35
8. 高齢化対策・障害者支援について	39
9. 脱炭素化に向けた取組について	41
10. DX（デジタル・トランスフォーメーション）について	45

設問別 ページ対応一覧

	設問	頁
あなた自身について	F1 あなたの年齢をお答えください。	7
	F2 あなたの性別をお答えください。	7
	F3 あなたの世帯の家族構成はどれにあたりますか。	8
	F4 あなたにお子さんはいますか。いる場合、お子さんは次のどの段階に当たりますか。別居しているお子さんも含め全員について、それぞれお答えください。	8
	F5 あなたの同居の家族に 65 歳以上の方はいますか。(自分も含めて)	9
	F6 配偶者(パートナー)はいらっしゃいますか。	9
	F6-1 あなたの配偶者(パートナー)のご職業は何ですか。	10
	F7 あなたの職業はどれにあたりますか。	10
	F7-1 あなたが主に就労・就学している場所はどこですか。	11
	F8 あなたのお住まいは、この中のどれにあたりますか。	11
	F9 あなたは、青葉区(平成5年以前は緑区北部支所管内)にどのくらいの期間お住まいになっていますか。	12
生活環境・定住意識・区や市への愛着	問1 あなたは、現在のお住まいの周辺的生活環境をどのように感じていますか。	13
	問2 あなたは、青葉区や横浜市に対して、愛着や誇りを感じていますか。青葉区、横浜市それぞれについてお答えください。	14
	問3 あなたが青葉区に住んだきっかけや理由は何ですか。	15
	問4 あなたは、青葉区に住みつづけたいと思いますか。	15
	問5 あなたは、将来、青葉区がどのようなまちであってほしいと思いますか。	16
	問6 現在のお住まいの住環境について(ア)現在の状況と(イ)以前(4, 5年前)と比べた変化、それぞれについて該当する番号に○を付けてください。	17
	問6-1 上記(1)～(21)の質問項目のうち、お住まいの住環境にとって、特にどれが重要だと思いますか。	19
将来	問7 あなたは、自由に使える時間ができたとき(子育て後や退職後など)、どのような生活像を描いていますか。	20
	問8 もし、将来、あなたに介護が必要になったとき、どのような生活を望みますか。	20
	問9 あなたにとって、将来の不安に感じる点はどのようなことですか。	21
地域のつながり	問10 あなたは、自治会・町内会に加入していますか。	22
	問10-1 自治会・町内会へ加入していない理由は何ですか。	22
	問11 あなたは、地域活動に参加していますか、または、参加したいと思いますか。	23
	問12 あなたは、地域活動に関する情報に満足していますか。	26
	問13 あなたが地域活動に参加する場合、期待することは何ですか。	26
	問14 あなたは、地域とどのように関わっていきたいと思いますか。	27
	問14-1 地域と関わりたくない理由は何ですか。	27
	問15 あなたは、地域の困っている人にどのような手助けができると思いますか。また、少し困ったことがあった場合、地域から手助けしてもらいたいことはありますか。	28

防災・防犯	問16 あなたが実施している防災対策は何ですか。	30
	問17 大きな地震が発生したとき、あなたはどこで避難生活を送りたいですか。	31
	問17-1 避難所を選択した理由は何ですか。	31
	問18 あなたやあなたと一緒に住んでいる家族に、災害時要援護者の方はいらっしゃいますか。	32
	問18-1 あなたやあなたと一緒に住んでいる家族で、災害発生時の対応としてあてはまるものに○をしてください。	32
	問19 あなたが実施している防犯対策は何ですか。	33
	問20 地域の防犯対策として、どのようなことが効果があると思いますか。	33
広報	問21 あなたは、青葉区役所からのお知らせや地域情報をどこで知りますか。	34
健康	問22 あなたの健康状態はいかがですか。最近の状況に最も近いものに○をしてください。	35
	問23 あなたは、ご自身の健康のためにどのようなことに気を付けていますか。	36
	問24 あなたは、1回30分以上の運動をどのくらいの頻度で行っていますか。	37
	問25 概ね過去1年以内に受診した健診・検診はありますか。	37
	問25-1 受診していない理由は何ですか。	38
障害対策・高齢者支援	問26 今後、高齢者人口が増加する中で、青葉区はどの施策に力を入れていくべきだと思いますか。	39
	問27 あなたは、どのような取組があると障害者への理解が進むと思いますか。	40
脱炭素化	問28 あなたは、「脱炭素化」に向けた取組について、どの程度取り組んでいますか。	41
	問28-1 その理由は何ですか。	42
	問29 あなたが「脱炭素化」につながる行動で既に取り組んでいること、今後取り組んでみたいと思うことはありますか。	43
D X	問30 あなたが区役所のデジタル化に期待する分野・サービスは何ですか。	45

I 調査の概要

1. 調査の目的

区民の意識やニーズ等を的確に把握するための分析及び分析結果をまとめた報告書を作成し、青葉区の運営方針の基本目標である『『住みつづけたい・住みたいまち 青葉』の実現』に向けた区政運営や政策立案の基礎資料として活用する。

2. 調査の方法

- (1) 調査地域：横浜市青葉区
- (2) 調査対象：5,000 人（青葉区内に居住する満 18 歳以上の個人、うち外国人 75 人）
- (3) 抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法：郵送又はインターネット回答によるアンケート方式
- (5) 調査期間：令和 7 年 6 月 2 日（月）～6 月 20 日（金）

3. 調査の項目

- (1) あなた自身について
- (2) 生活環境・定住意識・区や市への愛着について
- (3) 将来について
- (4) 地域のつながりについて
- (5) 防災・防犯について
- (6) 広報について
- (7) 健康について
- (8) 高齢化対策・障害者支援について
- (9) 脱炭素化に向けた取組について
- (10) DX（デジタル・トランスフォーメーション）について

4. 調査票回収結果

有効回答数：2,127

回収率：42.5%（ $2,127 \div 5,000 \times 100$ ）

5. 集計方法

単純集計

6. 調査結果の見方

- (1) n は質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す割合算出の基数である。
設問によっては、回答対象が限られるため、有効回答数にならない場合がある。
- (2) 設問により回答がなくても、全体のいずれかに回答していれば、有効回答数に含める。
- (3) 百分比は n を 100.0%として算出し、小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示している。このため、内訳の合計が 100.0%に満たない場合や、上回る場合がある。
- (4) 1回答者が2つ以上の回答をしてもよい複数回答の設問では、百分比の合計が 100.0%を上回る場合がある。
- (5) 本文や図表中の選択肢表記では、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (6) 無作為抽出を用いた場合の標本誤差（サンプル誤差）は、信頼度を 95%としたとき、次の式によって得られる。標本誤差の幅は、割合算出の基数(n)及び回答割合（P）によって異なる。

＜標本誤差の計算式＞

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P \times (1-P)}{n}}$$

N = 母集団数
 n = 回答件数
 P = 回答割合 (%)

＜標本誤差早見表＞

	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%
3,000 人	±1.07%	±1.42%	±1.63%	±1.74%	±1.78%
2,127 人	±1.27%	±1.69%	±1.94%	±2.07%	±2.12%
2,000 人	±1.31%	±1.75%	±2.00%	±2.14%	±2.18%
1,000 人	±1.86%	±2.47%	±2.83%	±3.03%	±3.09%
500 人	±2.63%	±3.50%	±4.01%	±4.29%	±4.38%

※母集団は横浜市青葉区全体の満 18 歳以上人口 261,417 人である。（令和 7 年 3 月 31 日）

＜標本誤差の見方＞

例えば、「ある設問の回答者数が 2,127 であり、その設問中の回答割合が 60%であった場合、その回答割合の誤差の範囲は最高でも 2.07%以内（57.93%～62.07%）である」とみることができる。

ただし、信頼度が 95%であるので、そのように判断することは 95%の確率で正しいことになる。

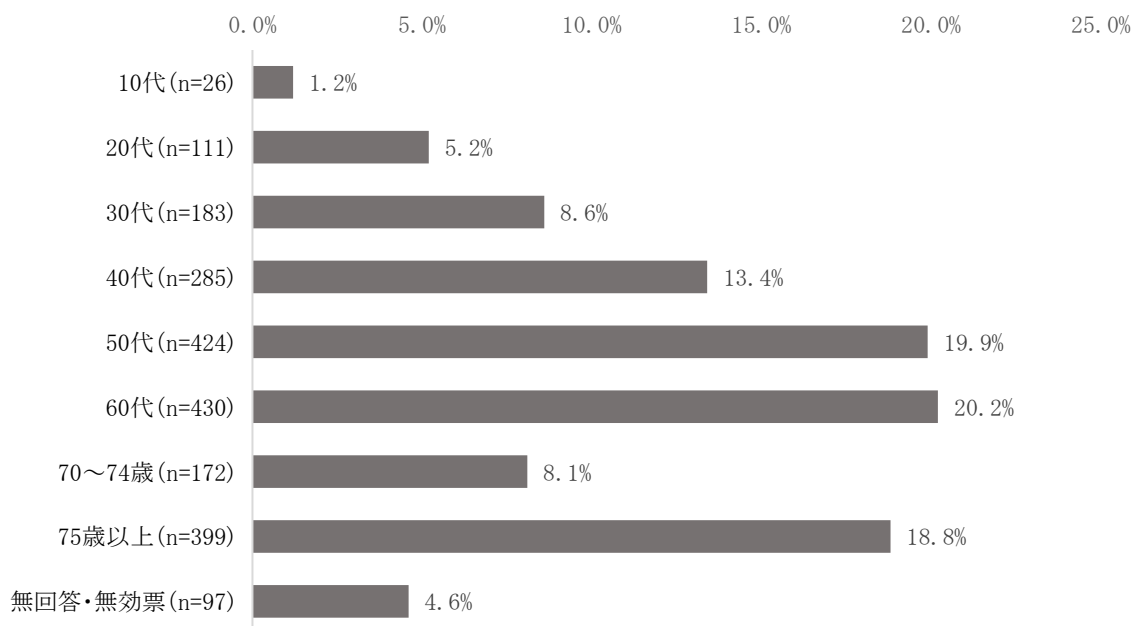
Ⅱ 調査の結果

1. あなた自身について

F 1 あなたの年齢をお答えください。(○は1つだけ)

年代ごとの回答者割合は、「60代」が20.2%と最も高く、次いで「50代」が19.9%となっている。以下、「75歳以上」が18.8%、「40代」が13.4%と続いている。

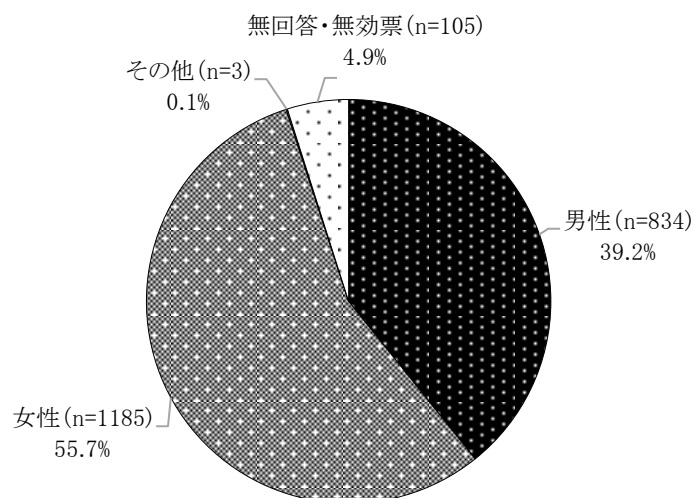
【全体集計】 n=2,127



F 2 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

性別ごとの回答者割合は、「女性」が55.7%、「男性」が39.2%となっている。

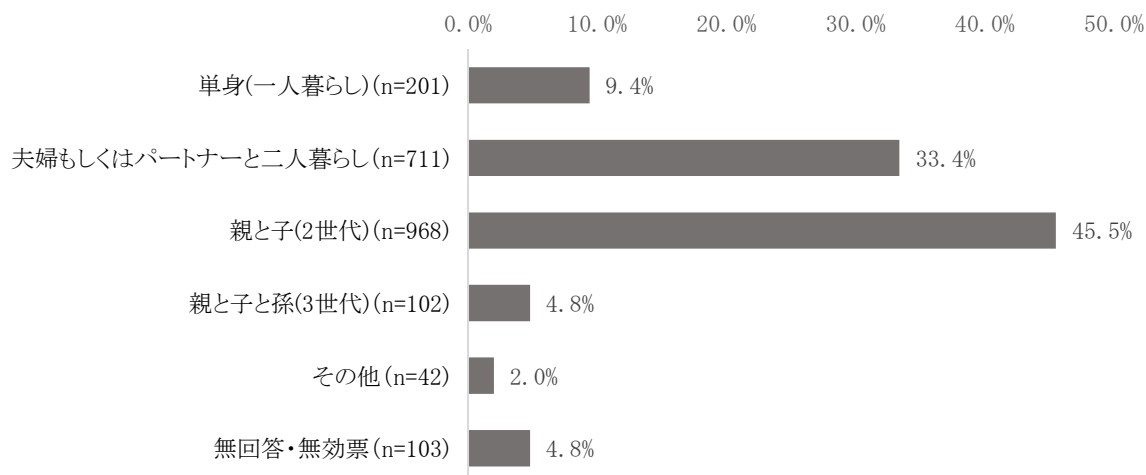
【全体集計】 n=2,127



F 3 あなたの世帯の家族構成はどれにあたりますか。(○は1つだけ)

世帯の家族構成は、「親と子(2世代)」が45.5%と割合が最も高く、次いで「夫婦もしくはパートナーと二人暮らし」が33.4%となっている。以下、「単身(一人暮らし)」が9.4%、「親と子と孫(3世代)」が4.8%と続いている。

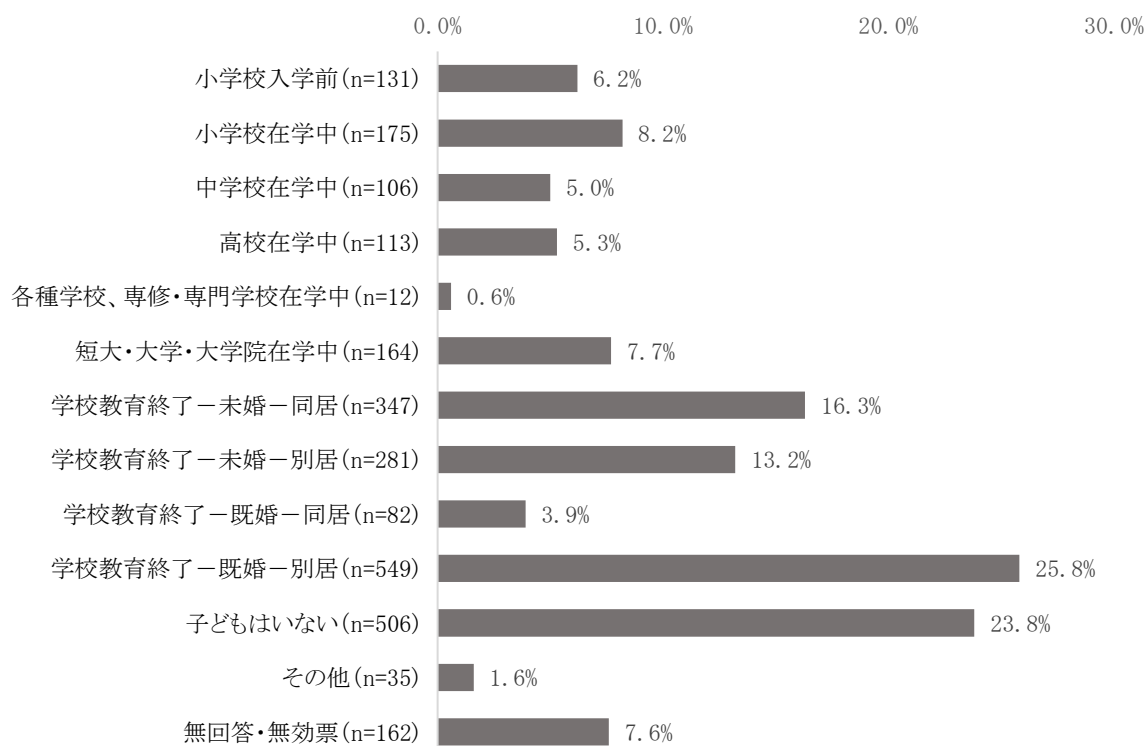
【全体集計】 n=2,127



F 4 あなたにお子さんはいますか。いる場合、お子さんは次のどの段階に当たりますか。別居しているお子さんも含め全員について、それぞれお答えください。(○はいくつでも)

子どもの有無及び成長段階は、「学校教育終了－既婚－別居」が25.8%と割合が最も高く、次いで「子どもはいない」が23.8%となっている。以下、「学校教育終了－未婚－同居」が16.3%、「学校教育終了－未婚－別居」が13.2%と続いている。

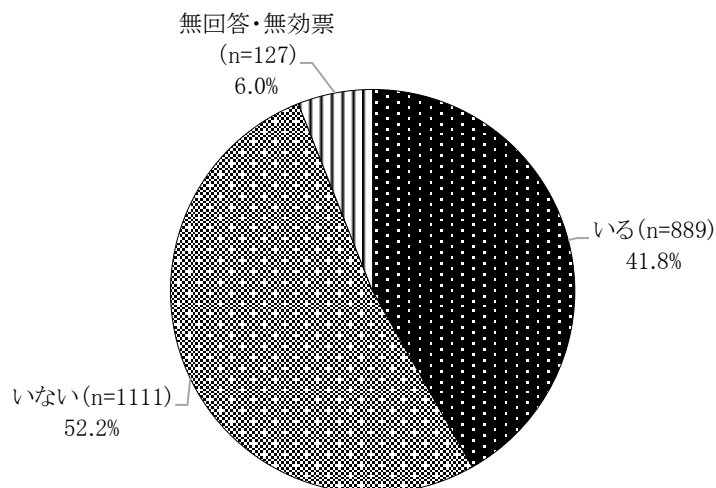
【全体集計】 n=2,127



F 5 あなたの同居の家族に 65 歳以上の方はいますか。(自分も含めて) (○は1つだけ)

同居の家族に 65 歳以上の方がいる割合は、「いない」が 52.2%と半数以上を占めており、「いる」が 41.8%となっている。

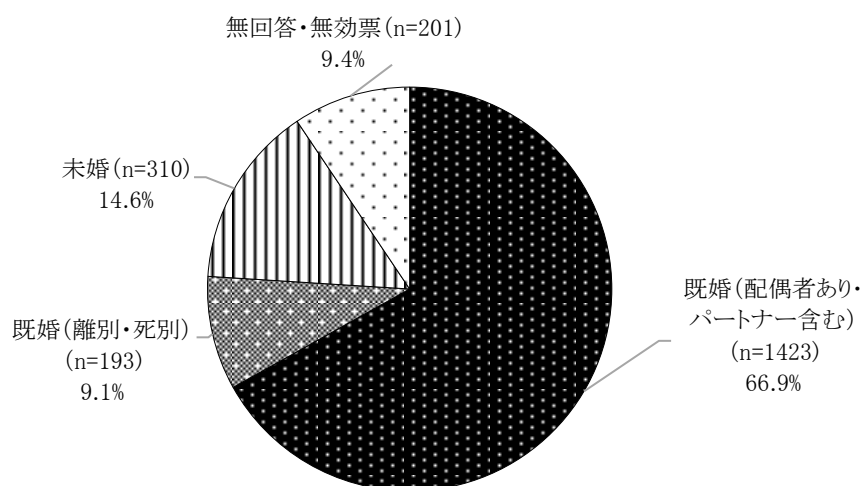
【全体集計】 n=2, 127



F 6 配偶者 (パートナー) はいらっしゃいますか。(○は1つだけ)

配偶者の有無は、「既婚 (配偶者あり・パートナー含む)」が 66.9%と割合が最も高く、次いで「未婚」が 14.6%となっている。「既婚 (離別・死別)」は 9.1%となっている。

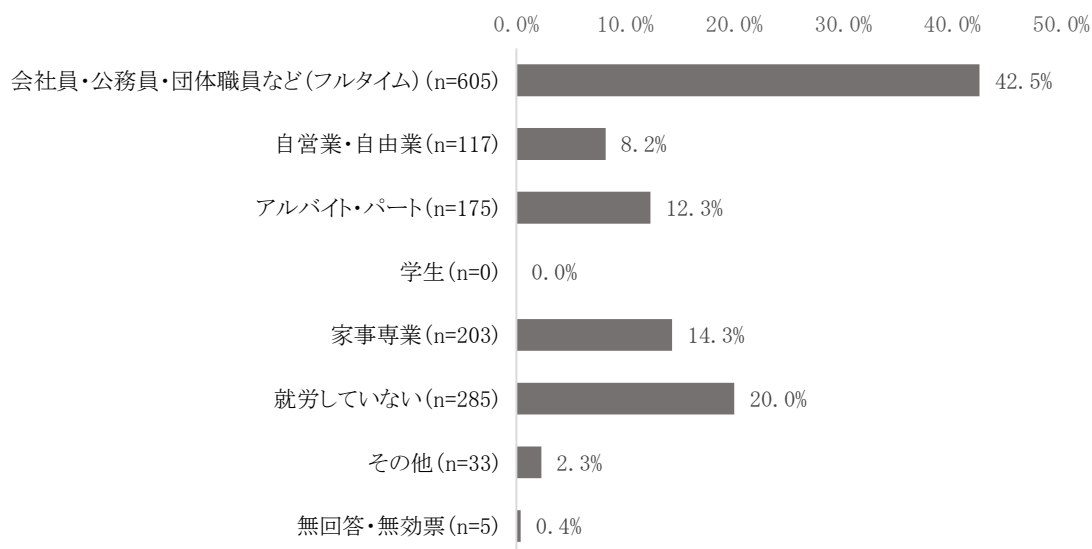
【全体集計】 n=2, 127



F 6－1 あなたの配偶者（パートナー）のご職業は何ですか。（○は1つだけ）
※ F 6で「1 既婚（配偶者あり・パートナー含む）」と回答された方へ

配偶者（パートナー）の職業について、「会社員・公務員・団体職員など（フルタイム）」が42.5%と割合が最も高く、次いで「就労していない」が20.0%となっている。以下、「家事専業」が14.3%、「アルバイト・パート」が12.3%と続いている。

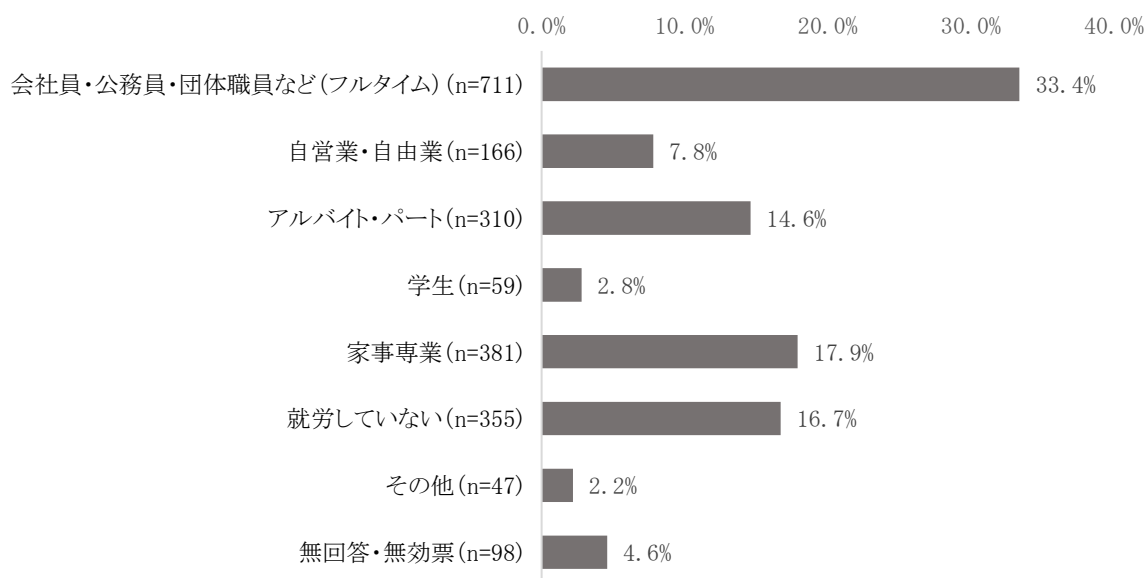
【全体集計】 n=1,423



F 7 あなたの職業はどれにあたりますか。（○は1つだけ）

回答者の職業の割合は、「会社員・公務員・団体職員など（フルタイム）」が33.4%と最も高く、次いで「家事専業」が17.9%となっている。以下、「就労していない」が16.7%、「アルバイト・パート」が14.6%と続いている。

【全体集計】 n=2,127

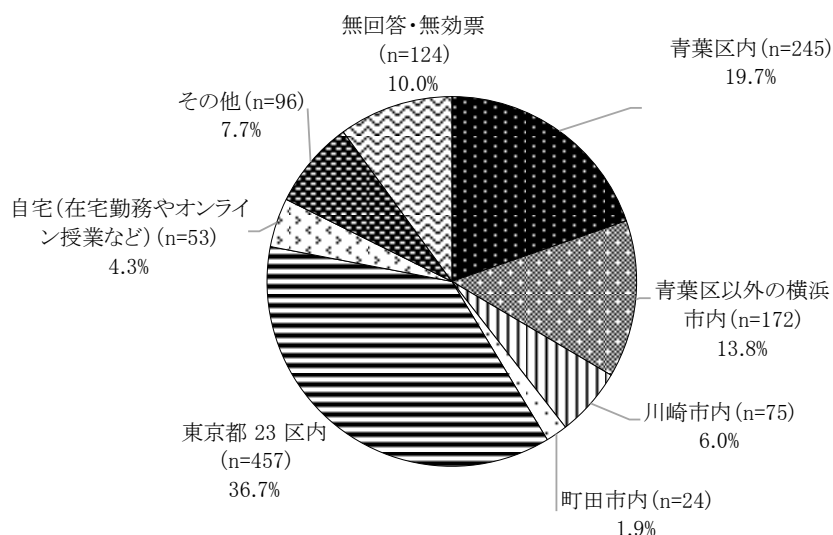


F 7－1 あなたが主に就労・就学している場所はどこですか。(○は1つだけ)

※F 7で「1 会社員・公務員・団体職員など（フルタイム）」～「4 学生」の中から回答された方へ

勤務先または在学先は、「東京都 23 区内」が 36.7%と割合が最も高く、次いで「青葉区内」が 19.7%となっている。以下、「青葉区以外の横浜市内」が 13.8%、「川崎市内」が 6.0%と続いている。

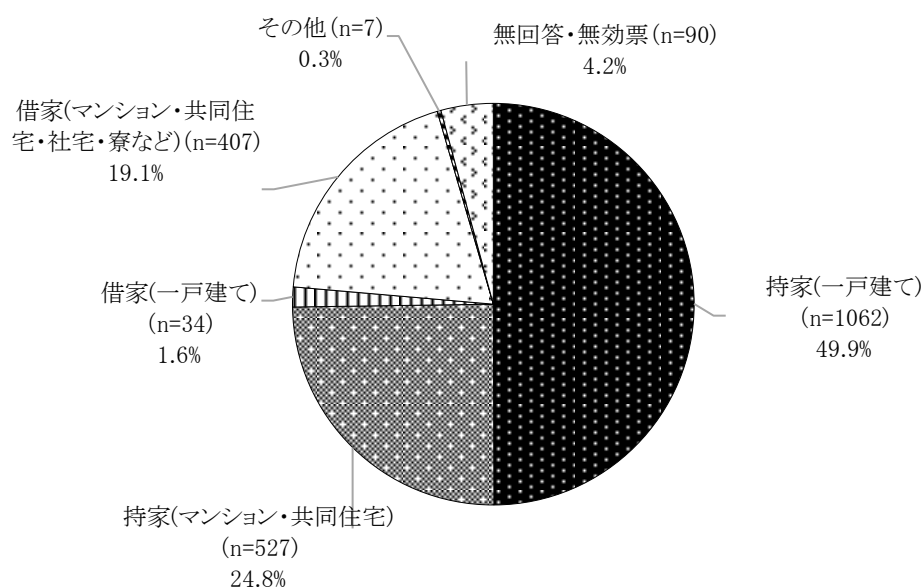
【全体集計】 n=1,246



F 8 あなたのお住まいは、この中のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

回答者の住まいの割合は、「持家(一戸建て)」が 49.9%と最も高く、次いで「持家(マンション・共同住宅)」が 24.8%、この2つを合わせると全体の7割以上を占めている。

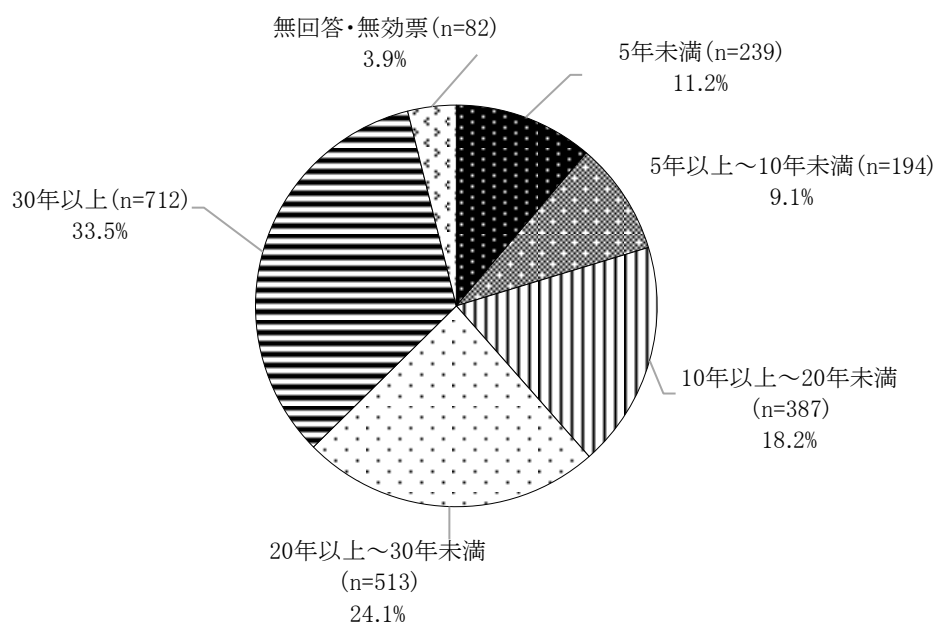
【全体集計】 n=2,127



F 9 あなたは、青葉区（平成5年以前は緑区北部支所管内）にどのくらいの期間お住まいになっていますか。（○は1つだけ）

回答者の青葉区の居住期間は、「30年以上」が33.5%と割合が最も高く、次いで「20年以上～30年未満」が24.1%、この2つを合わせると、全体の半数以上を超えている。以下、「10年以上～20年未満」が18.2%、「5年未満」が11.2%と続いている。

【全体集計】 n=2,127

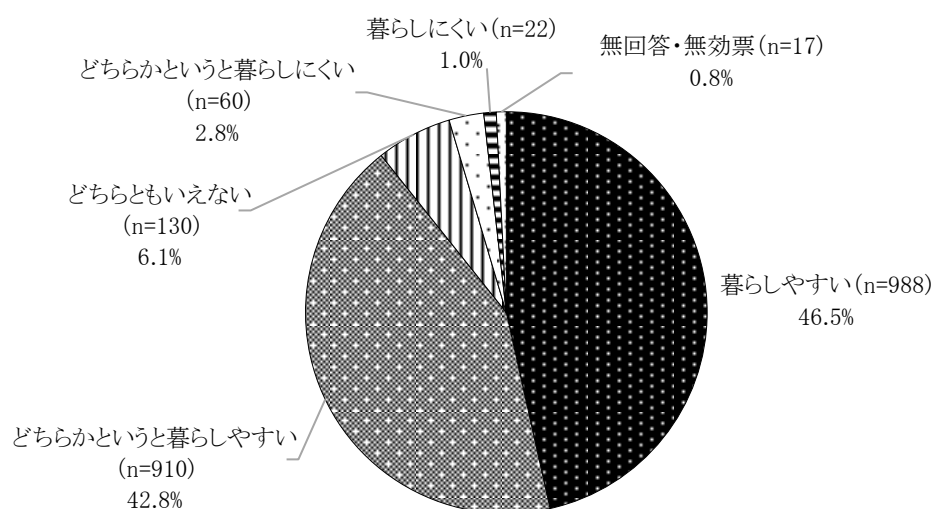


2. 生活環境・定住意識・区や市への愛着について

問1 あなたは、現在のお住まいの周辺の生活環境をどのように感じていますか。(○は1つだけ)

現在の住まいの周辺の生活環境は、「暮らしやすい」が46.5%と割合が最も高く、次いで「どちらかという暮らしやすい」が42.8%、この2つを合わせると9割弱となる。以下、「どちらともいえない」が6.1%、「どちらかという暮らしにくい」が2.8%が続いている。

【全体集計】 n=2,127

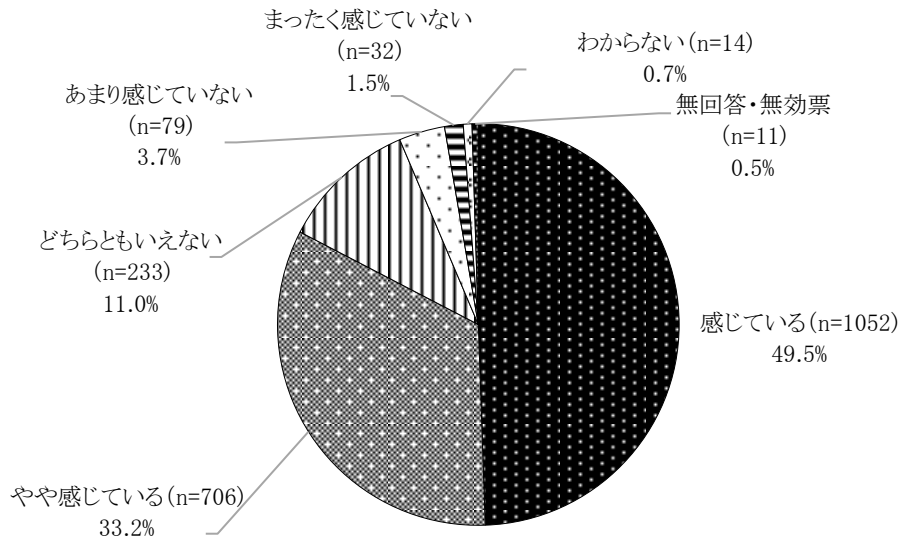


問2 あなたは、青葉区や横浜市に対して、愛着や誇りを感じていますか。
青葉区、横浜市それぞれについてお答えください。(それぞれに○は1つ)

○青葉区

青葉区に対して愛着や誇りを感じている割合は、「感じている」が49.5%と最も高く、全体の半数近くを占めており、次いで「やや感じている」が33.2%、この2つを合わせると8割を超える。以下、「どちらともいえない」が11.0%、「あまり感じていない」が3.7%と続いている。

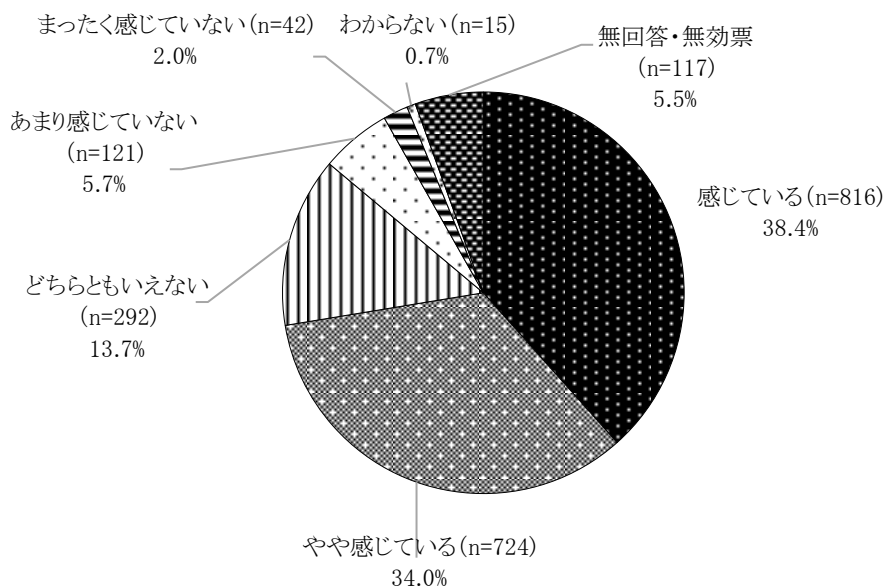
【全体集計】 n=2,127



○横浜市

横浜市に対して愛着や誇りを感じている割合は、「感じている」が38.4%と最も高く、次いで「やや感じている」が34.0%、この2つを合わせると7割を超える。以下、「どちらともいえない」が13.7%、「あまり感じていない」が5.7%と続いている。

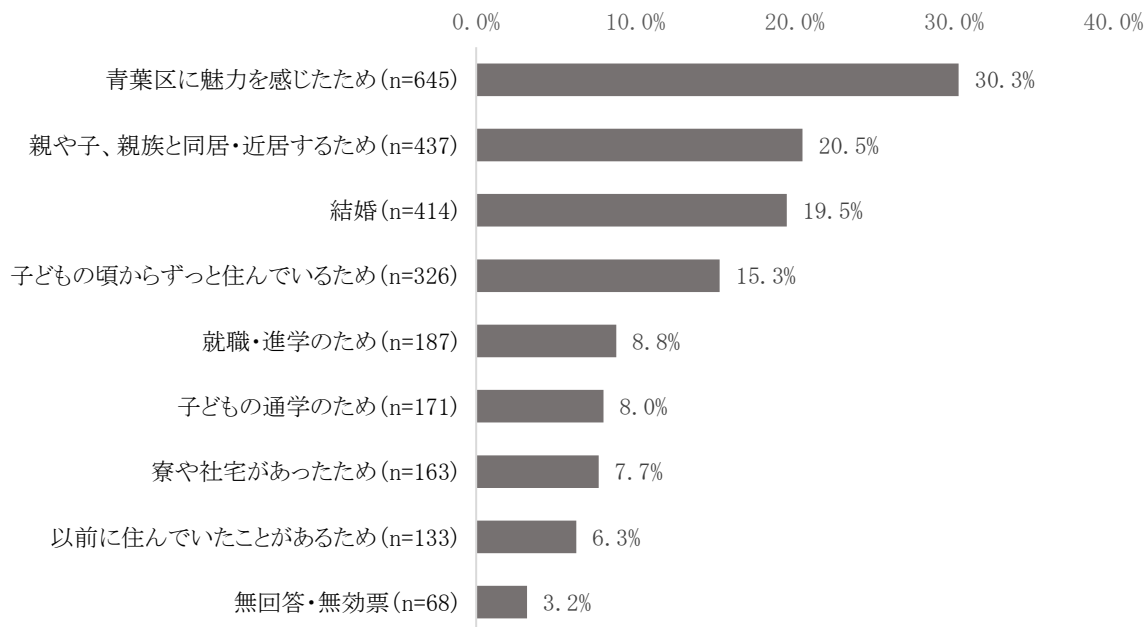
【全体集計】 n=2,127



問3 あなたが青葉区に住んだきっかけや理由は何ですか。(〇はいくつでも)

青葉区に住んだきっかけ及び理由は、「青葉区に魅力を感じたため」が30.3%と割合が最も高く、次いで「親や子、親族と同居・近居するため」が20.5%となっている。以下、「結婚」が19.5%、「子どもの頃からずっと住んでいるため」が15.3%、「就職・進学のため」が8.8%と続いている。

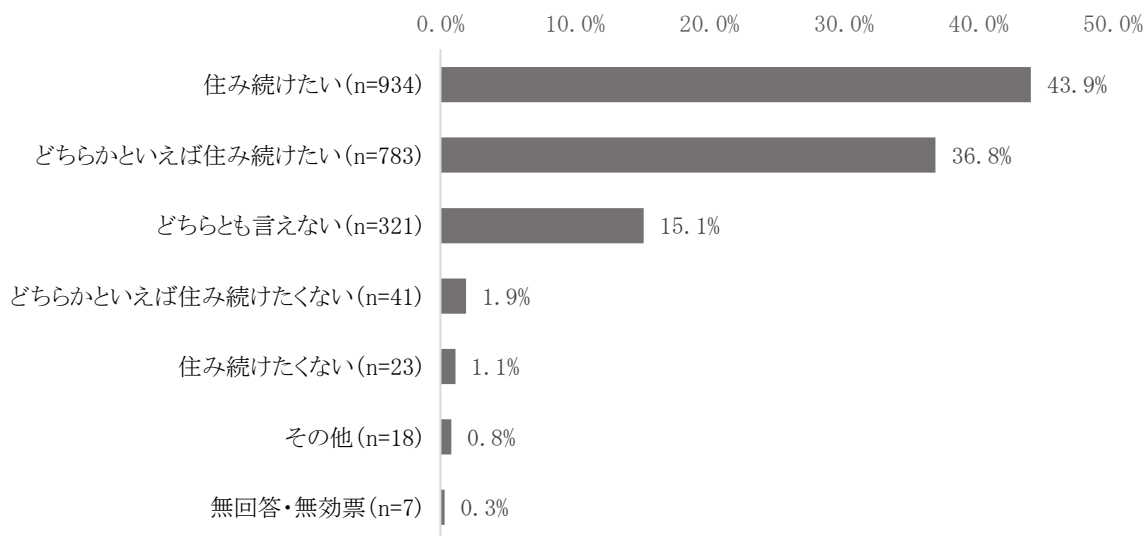
【全体集計】 n=2,127



問4 あなたは、青葉区に住みつづけたいと思いますか。(〇は1つだけ)

青葉区に住みつづけたいかという質問に対して、「住み続けたい」が43.9%と割合が最も高く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が36.8%となっている。以下、「どちらとも言えない」が15.1%、「どちらかといえば住み続けたくない」が1.9%と続いている。

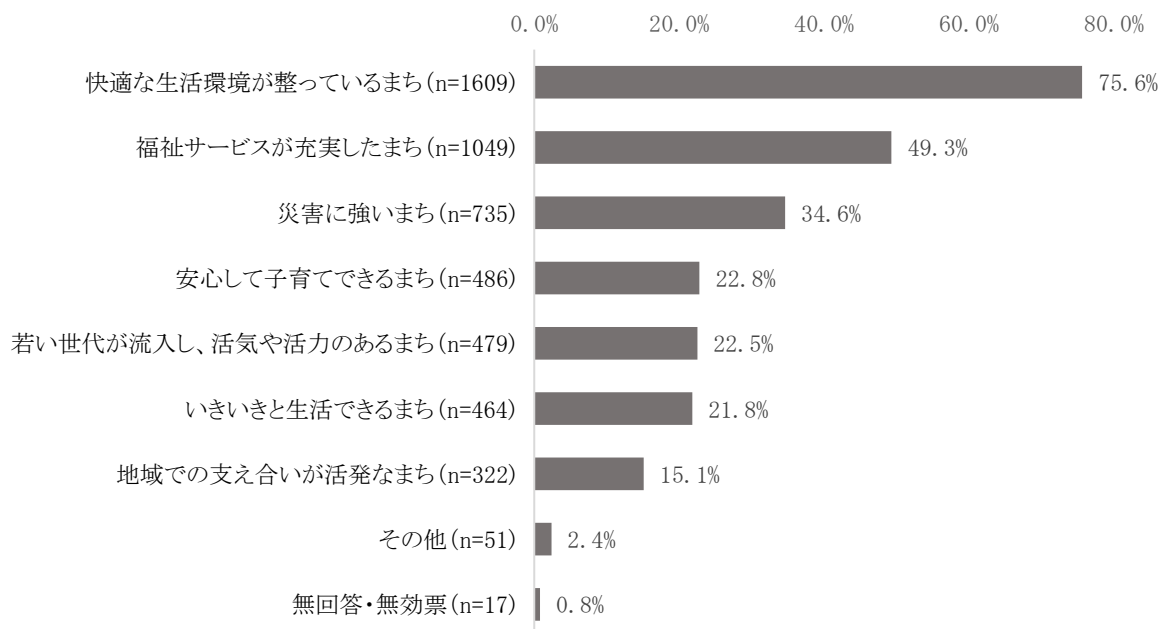
【全体集計】 n=2,127



問5 あなたは、将来、青葉区がどのようなまちであってほしいと思いますか。(〇は3つまで)

将来、青葉区がどのようなまちであってほしいと思うかという質問に対して、「快適な生活環境が整っているまち」が75.6%と割合が最も高く、次いで「福祉サービスが充実したまち」が49.3%となっている。以下、「災害に強いまち」が34.6%、「安心して子育てできるまち」が22.8%、「若い世代が流入し、活気や活力のあるまち」が22.5%と続いている。

【全体集計】 n=2,127

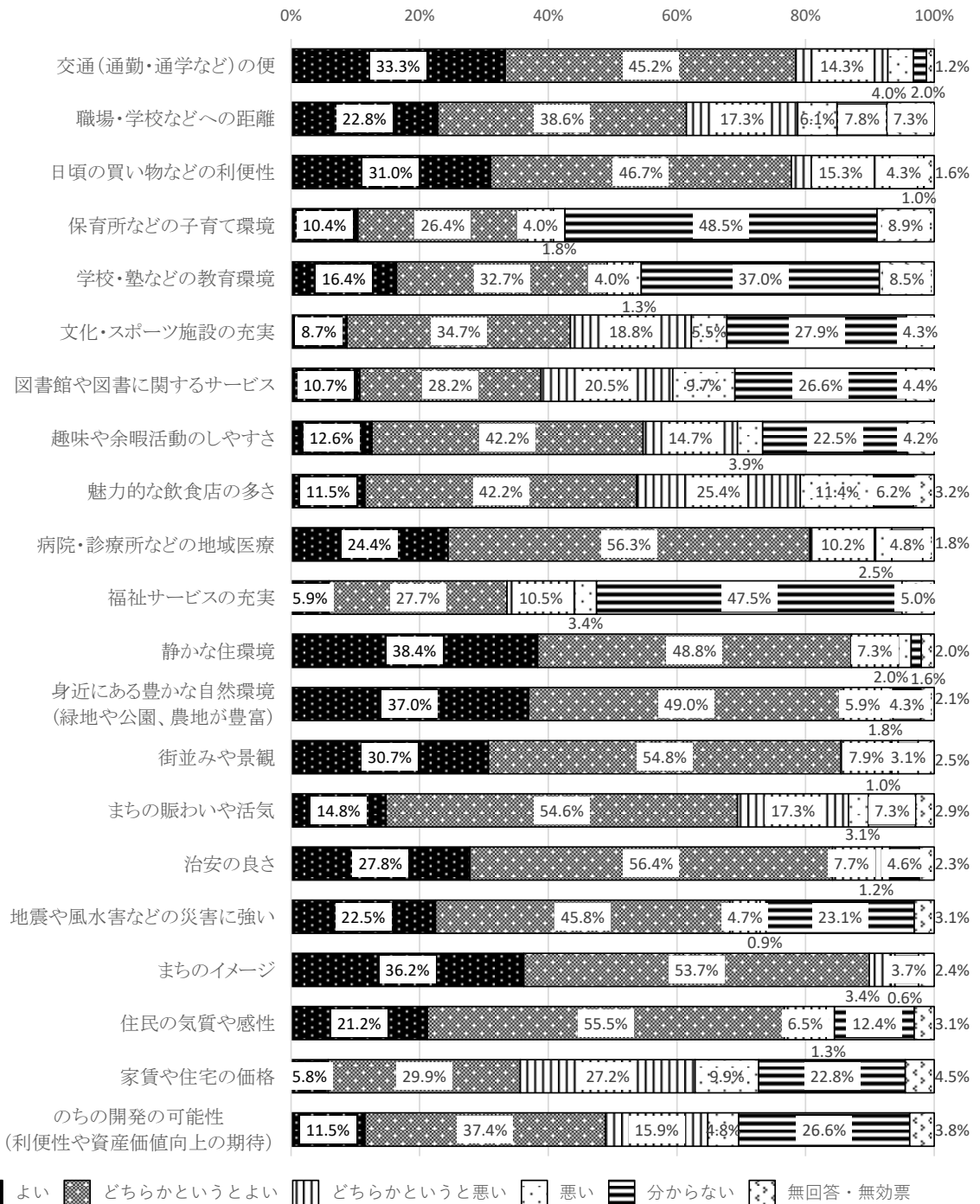


問6 現在のお住まいの住環境について（ア）現在の状況と（イ）以前（4, 5年前）と比べた変化、それぞれについて該当する番号に○を付けてください。
（当てはまる項目に○はいくつでも）

○現在の状況

お住まいの住環境の現在の状況について、「よい」と感じている項目は、「静かな住環境」が38.4%と割合が最も高く、次いで「身近にある豊かな自然環境(緑地や公園、農地が豊富)」が37.0%となっている。以下、「まちのイメージ」が36.2%、「交通（通勤・通学など）の便」が33.3%と続いている。

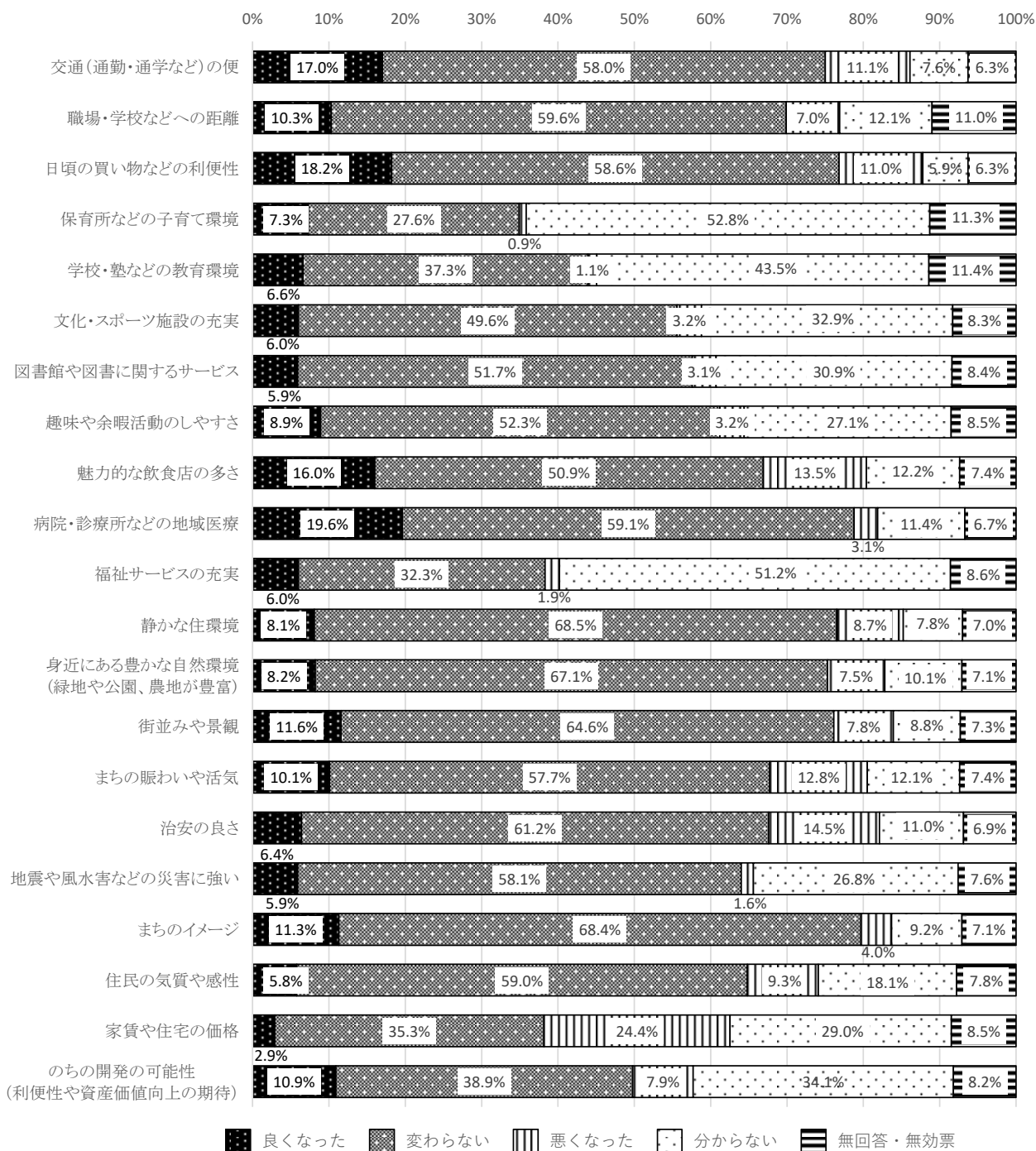
【全体集計】 n=2,127



○以前（4，5 年前）と比べた変化

お住まいの住環境の、以前（4，5 年前）と比べた変化について、「良くなった」と感じている項目は、「病院・診療所などの地域医療」が 19.6%と割合が最も高く、次いで「日頃の買い物などの利便性」が 18.2%となっている。以下、「交通（通勤・通学など）の便」が 17.0%、「魅力的な飲食店の多さ」が 16.0%と続いている。

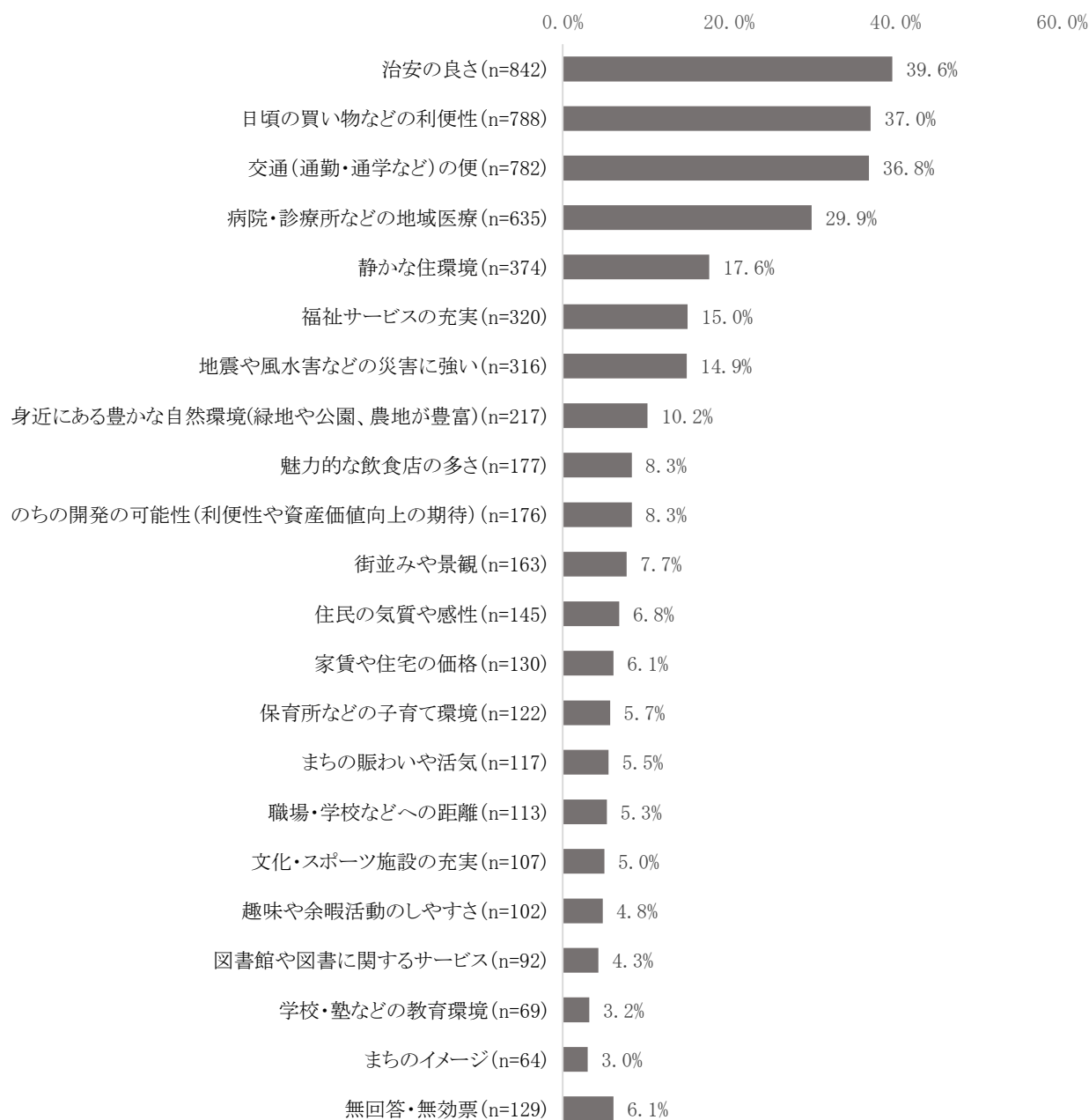
【全体集計】 n=2, 127



問 6－1 お住まいの住環境にとって、特にどれが重要だと思いますか。
(問 6 (1)～(21)の質問項目のうち、該当する項目の番号を3つまで)

お住まいの住環境にとって重要だと思う点は、「治安の良さ」が 39.6%と割合が最も高く、次いで「日頃の買い物などの利便性」が 37.0%となっている。以下、「交通(通勤・通学など)の便」が 36.8%、「病院・診療所などの地域医療」が 29.9%と続いている。

【全体集計】 n=2,127

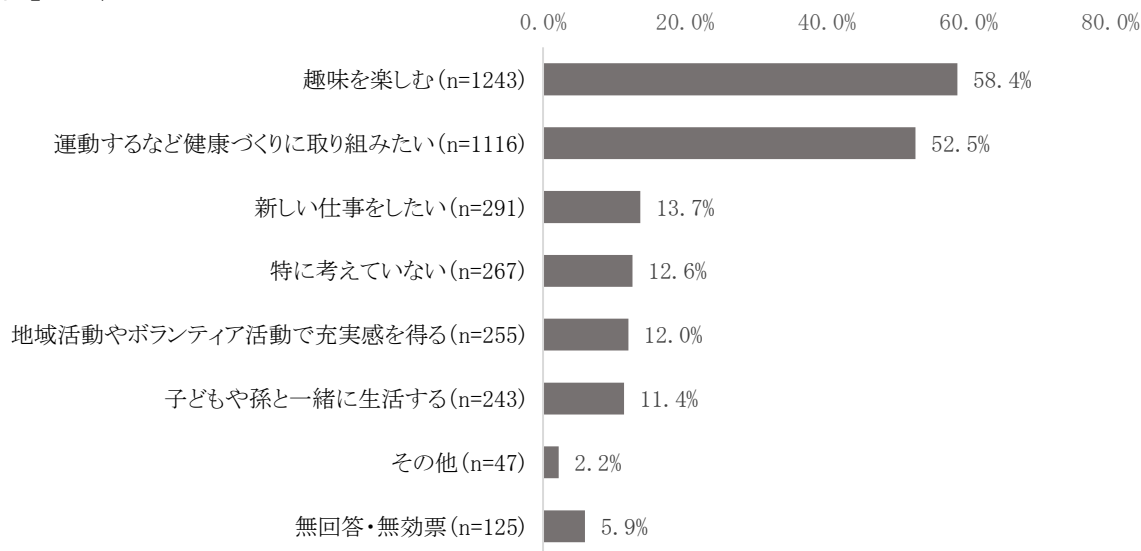


3. 将来について

問7 あなたは、自由に使える時間ができたとき(子育て後や退職後など)、どのような生活像を描いていますか。(〇はいくつでも)

退職後などの将来の生活像は、「趣味を楽しむ」が 58.4%と割合が最も高く、次いで「運動するなど健康づくりに取り組みたい」が 52.5%となっている。

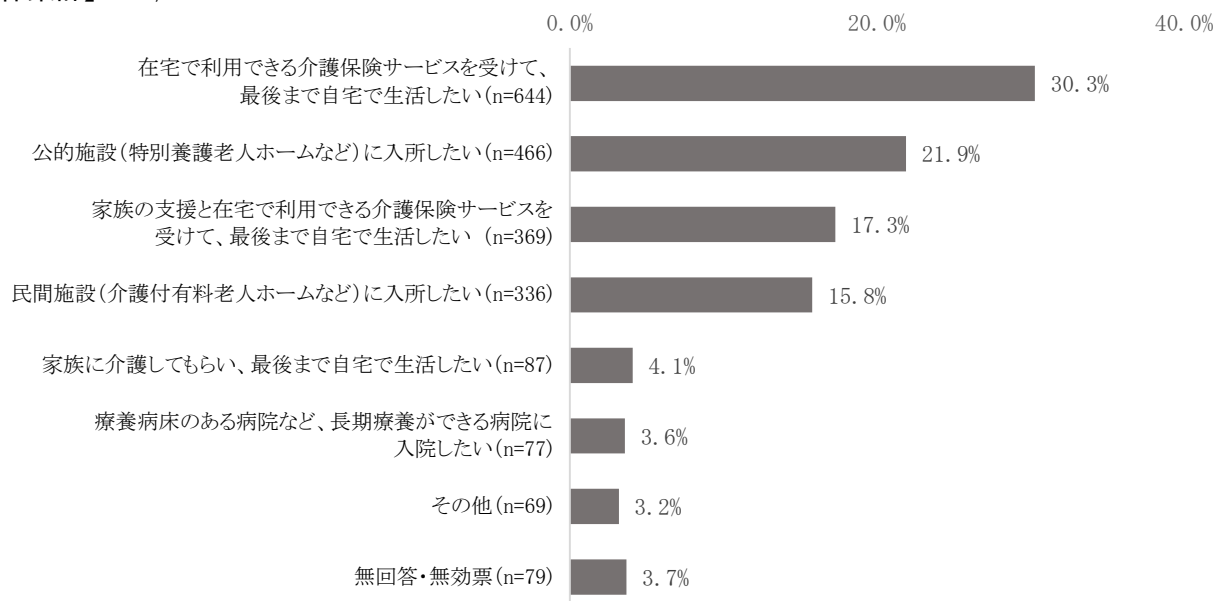
【全体集計】 n=2,127



問8 もし、将来、あなたに介護が必要になったとき、どのような生活を望みますか。(〇は1つだけ)

将来介護が必要になった際の生活像は、「在宅で利用できる介護保険サービスを受けて、最後まで自宅で生活したい」が 30.3%と最も高く、次いで「公的施設（特別養護老人ホームなど）に入所したい」が 21.9%となっている。

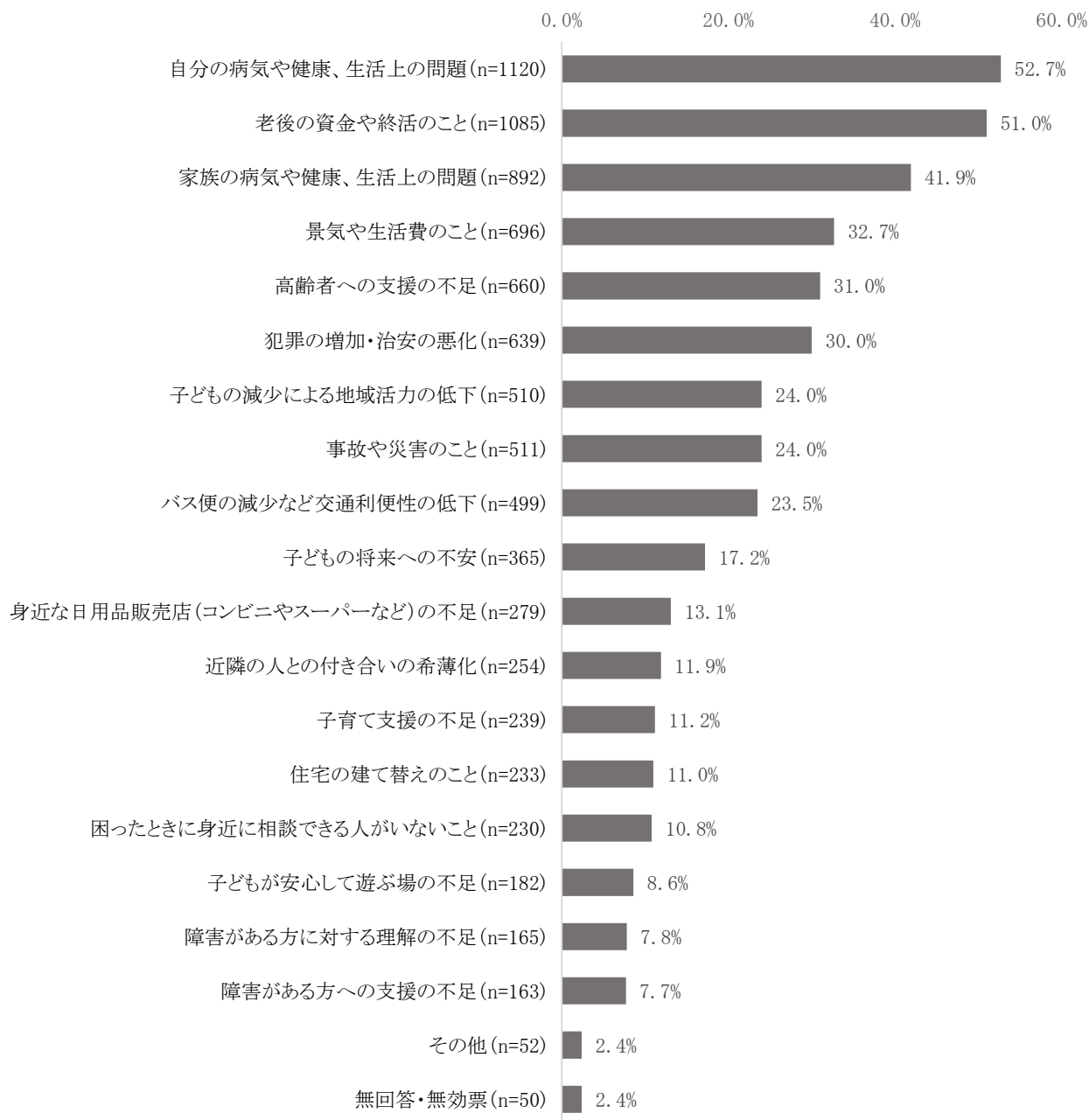
【全体集計】 n=2,127



問9 あなたにとって、将来の不安に感じる点はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

将来の不安に感じる点は、「自分の病気や健康、生活上の問題」が 52.7%と割合が最も高く、次いで「老後の資金や終活のこと」が 51.0%となっている。以下、「家族の病気や健康、生活上の問題」が 41.9%、「景気や生活費のこと」が 32.7%と続いている。

【全体集計】 n=2,127

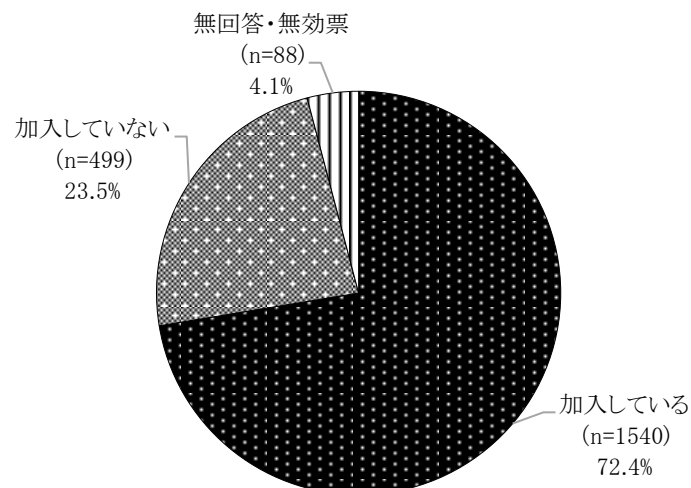


4. 地域のつながりについて

問 10 あなたは、自治会・町内会に加入していますか。(○は1つだけ)

自治会・町内会に「加入している」と回答した割合が 72.4%と、全体の 7 割を占めている。一方、「加入していない」と回答した割合は 23.5%となっている。

【全体集計】 n=2,127

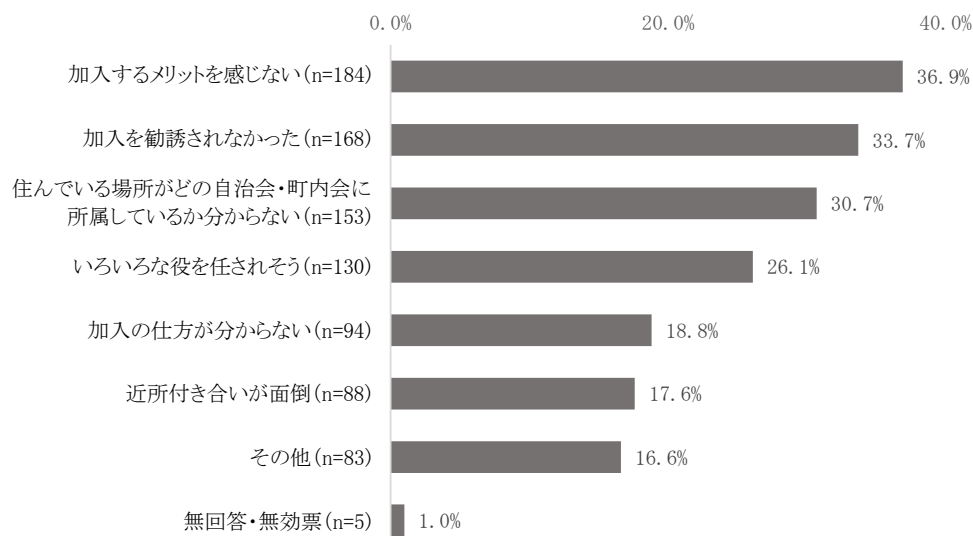


問 10-1 自治会・町内会へ加入していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

※問 10 で「2 加入していない」と回答された方へ

自治会・町内会に加入していない理由は、「加入するメリットを感じない」が 36.9%と割合が最も高く、次いで「加入を勧誘されなかった」が 33.7%となっている。以下、「住んでいる場所がどの自治会・町内会に所属しているか分からない」が 30.7%、「いろいろな役を任せられそう」が 26.1%と続いている。

【全体集計】 n=499

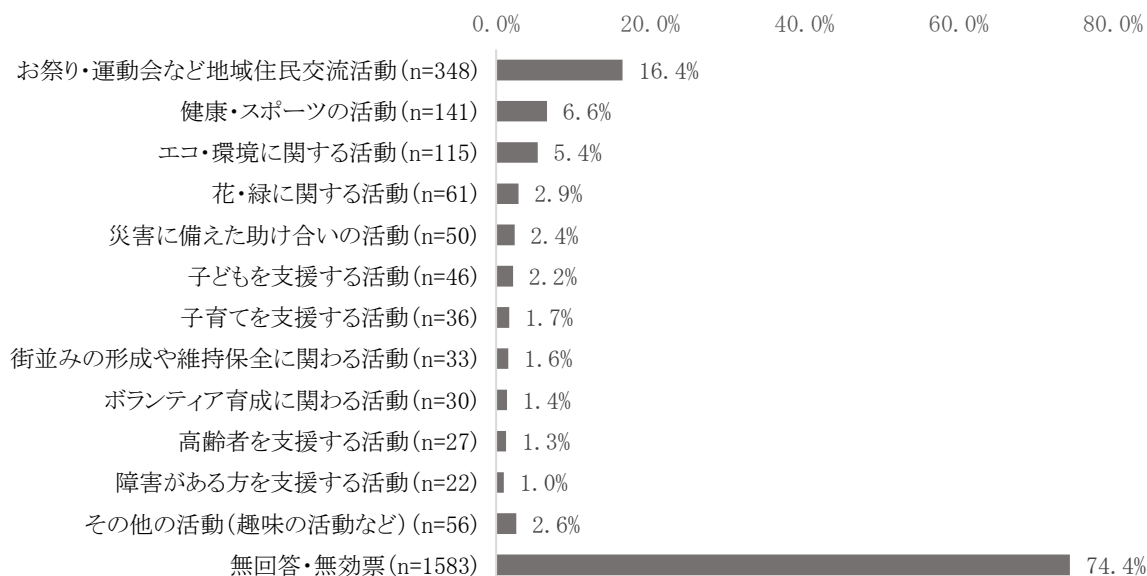


問 11 あなたは、地域活動に参加していますか、または、参加したいと思いますか。
(当てはまる項目に○はいくつでも)

○参加者として現在参加している

参加者として参加している地域活動は、「お祭り・運動会など地域住民交流活動」が 16.4%と割合が最も高く、次いで「健康・スポーツの活動」が 6.6%となっている。以下、「エコ・環境に関する活動」が 5.4%、「花・緑に関する活動」が 2.9%と続いている。

【全体集計】 n=2,127



○運営スタッフとして現在参加している

運営スタッフとして参加している地域活動は、「お祭り・運動会など地域住民交流活動」が 3.9%と割合が最も高く、次いで「災害に備えた助け合いの活動」が 1.2%となっている。以下、「エコ・環境に関する活動」が 1.1%、「健康・スポーツの活動」、「高齢者を支援する活動」が 1.0%と続いている。

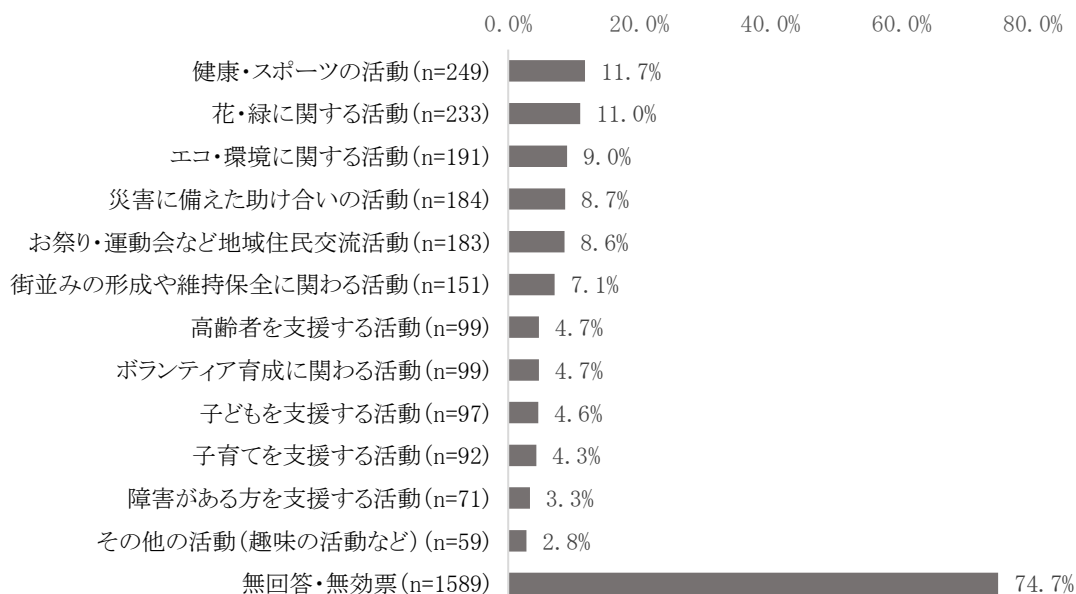
【全体集計】 n=2,127



○参加者として参加してみたい

参加者として参加してみたい地域活動は、「健康・スポーツの活動」が 11.7%と割合が最も高く、次いで「花・緑に関する活動」が 11.0%となっている。以下、「エコ・環境に関する活動」が 9.0%、「災害に備えた助け合いの活動」が 8.7%、「お祭り・運動会など地域住民交流活動」が 8.6%と続いている。

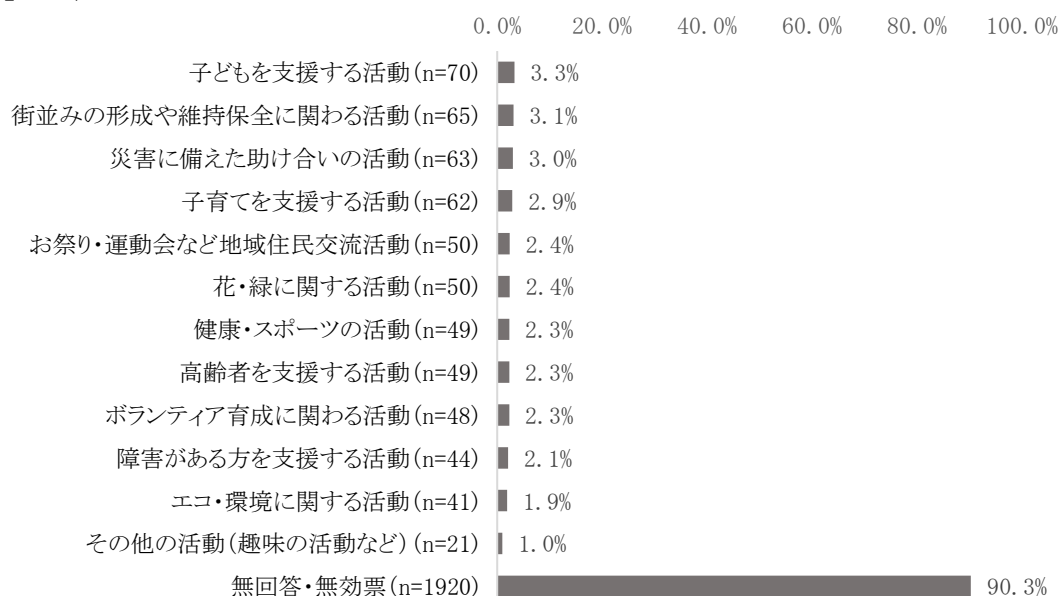
【全体集計】 n=2, 127



○運営スタッフとして参加してみたい

運営スタッフとして参加してみたい地域活動は、「子どもを支援する活動」が 3.3%と割合が最も高く、次いで「街並みの形成や維持保全に関わる活動」が 3.1%となっている。以下、「災害に備えた助け合いの活動」が 3.0%、「子育てを支援する活動」が 2.9%と続いている。

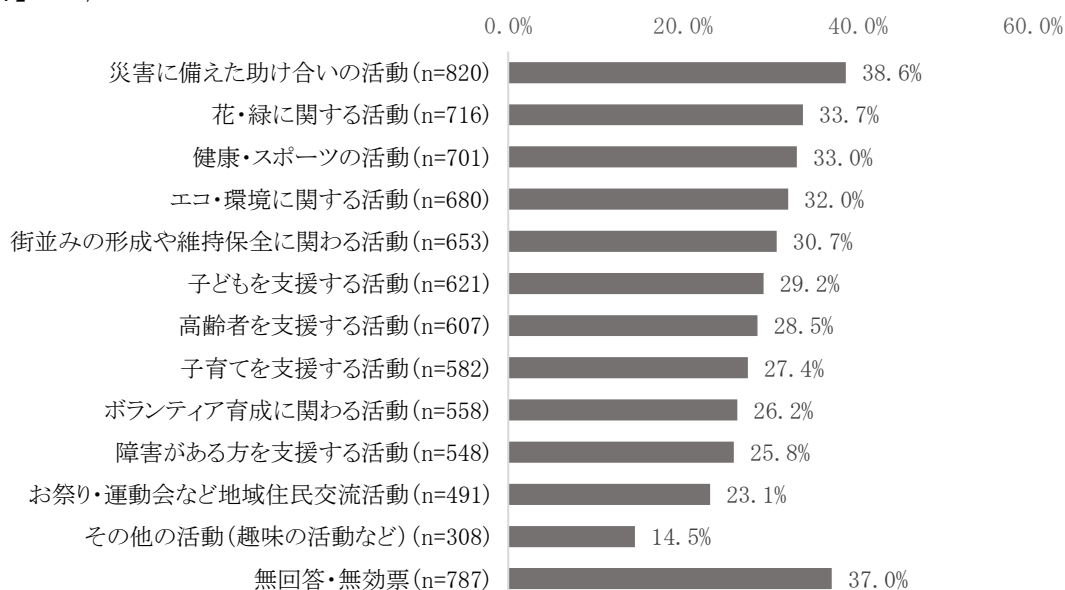
【全体集計】 n=2, 127



○今は参加できないが興味はある

興味がある地域活動は、「災害に備えた助け合いの活動」が 38.6%と割合が最も高く、次いで「花・緑に関する活動」が 33.7%となっている。以下、「健康・スポーツの活動」が 33.0%、「エコ・環境に関する活動」が 32.0%となっている。

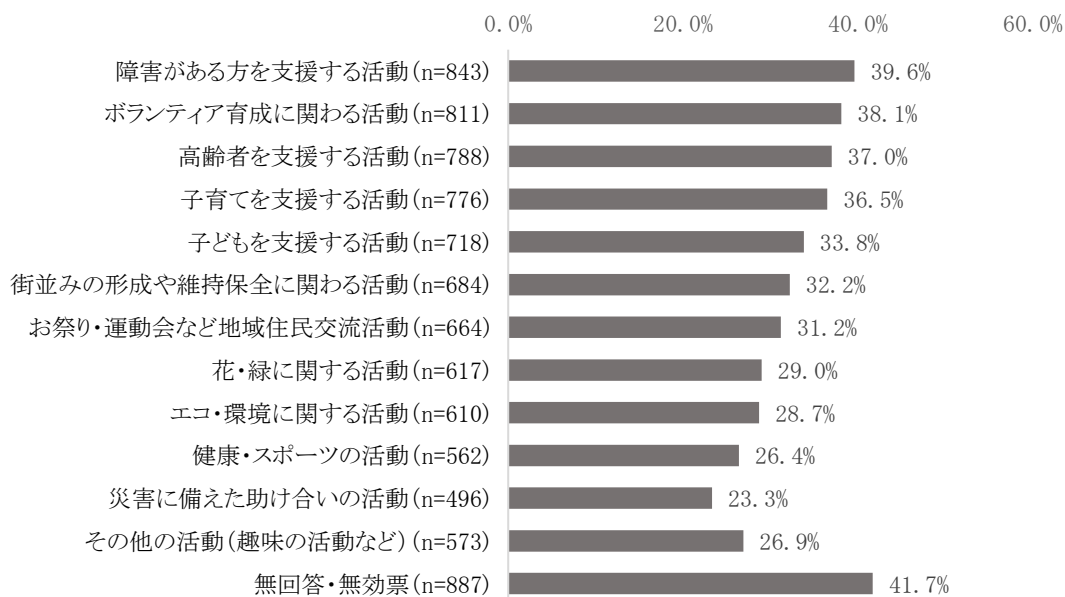
【全体集計】 n=2,127



○参加できない・するつもりはない

参加できない・するつもりはない地域活動は、「障害がある方を支援する活動」が 39.6%と割合が最も高く、次いで「ボランティア育成に関わる活動」が 38.1%となっている。以下、「高齢者を支援する活動」が 37.0%、「子育てを支援する活動」が 36.5%と続いている。

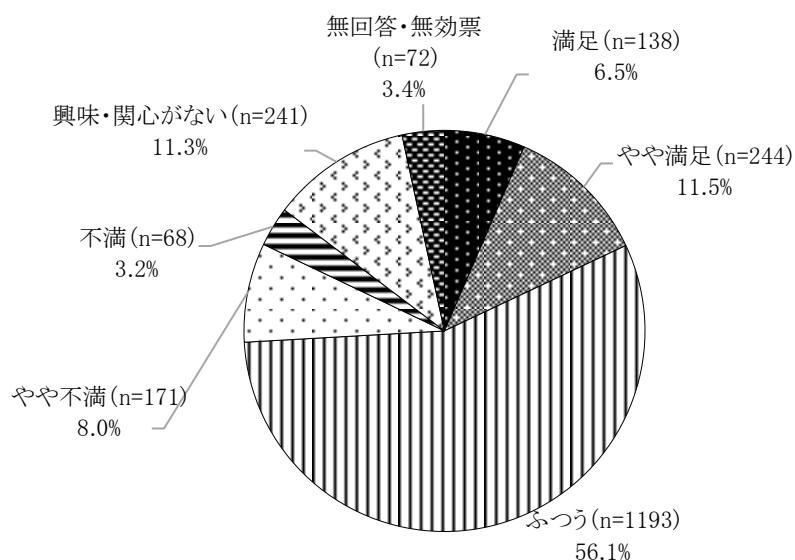
【全体集計】 n=2,127



問 12 あなたは、地域活動に関する情報に満足していますか。(○は1つだけ)

地域活動に関する情報の満足度は、「ふつう」が 56.1%と割合が最も高く、半数以上を占めており、次いで「やや満足」が 11.5%となっている。以下、「興味・関心がない」が 11.3%、「やや不満」が 8.0%と続いている。

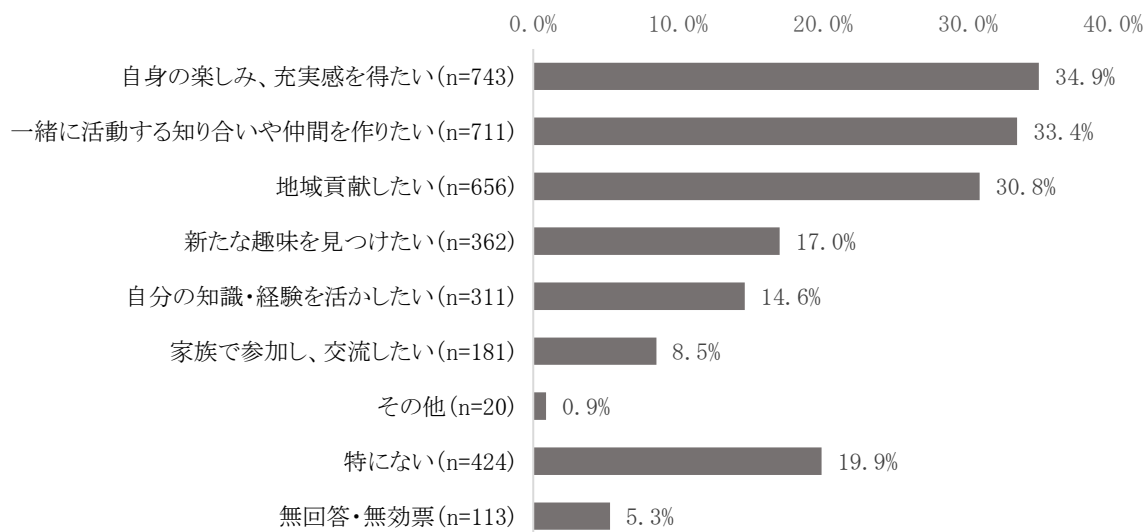
【全体集計】 n=2, 127



問 13 あなたが地域活動に参加する場合、期待することは何ですか。(○はいくつでも)

地域活動に参加する場合に期待することは、「自身の楽しみ、充実感を得たい」が 34.9%と割合が最も高く、次いで「一緒に活動する知り合いや仲間を作りたい」が 33.4%となっている。以下、「地域貢献したい」が 30.8%、「新たな趣味を見つけない」が 17.0%と続いている。

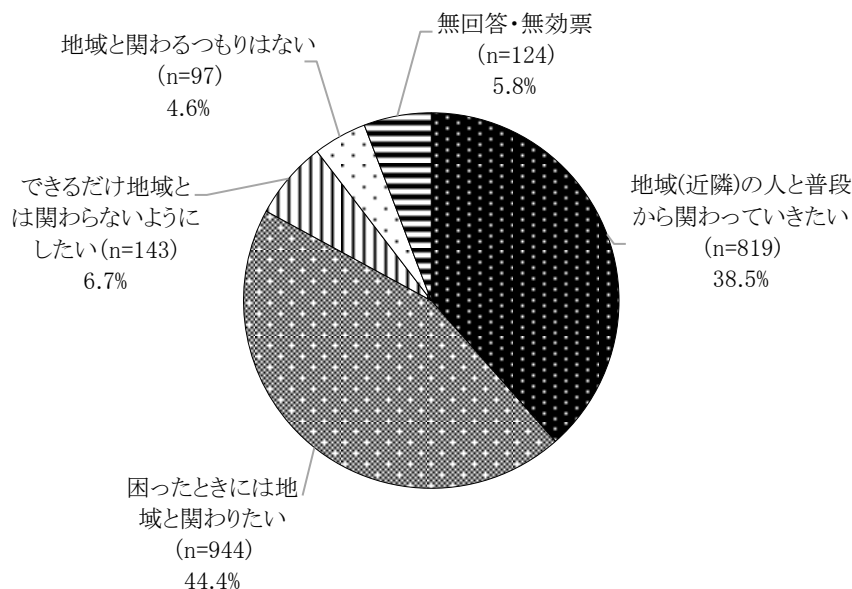
【全体集計】 n=2, 127



問 14 あなたは、地域とどのように関わっていきたいと思いますか。(〇は1つだけ)

地域とどのように関わっていきたいかは、「困ったときには地域と関わりたい」が44.4%と最も高く、次いで「地域(近隣)の人と普段から関わっていきたい」が38.5%となっている。以下、「できるだけ地域とは関わらないようにしたい」が6.7%、「地域と関わるつもりはない」が4.6%と続いている。

【全体集計】 n=2,127

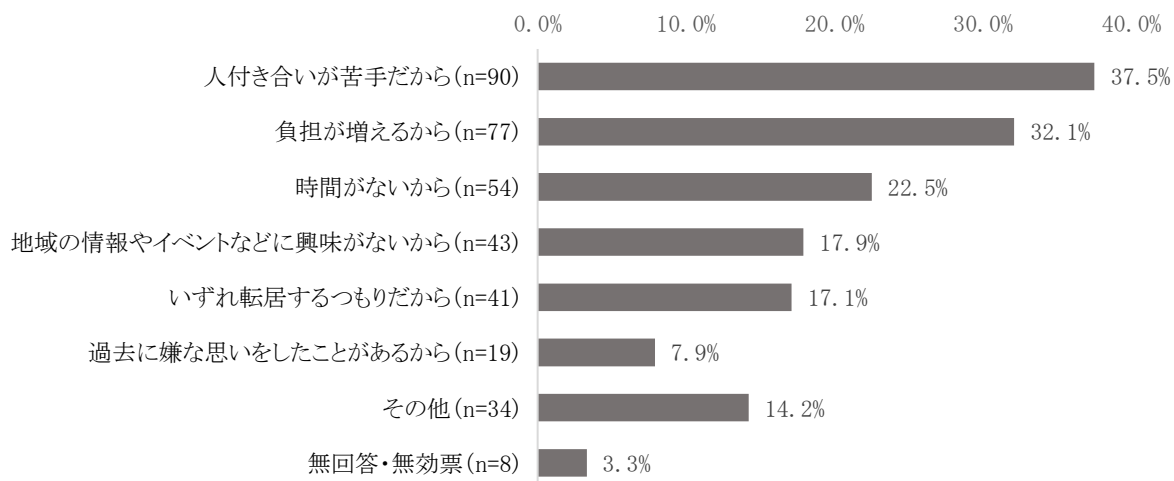


問 14-1 地域と関わりたくない理由は何ですか。(〇は2つまで)

※問 14 で「3 できるだけ地域とは関わらないようにしたい」「4 地域と関わるつもりはない」と回答された方へ

地域と関わりたくない理由は、「人付き合いが苦手だから」が37.5%と割合が最も高く、次いで「負担が増えるから」が32.1%となっている。以下、「時間がないから」が22.5%、「地域の情報やイベントなどに興味がないから」が17.9%と続いている。

【全体集計】 n=240

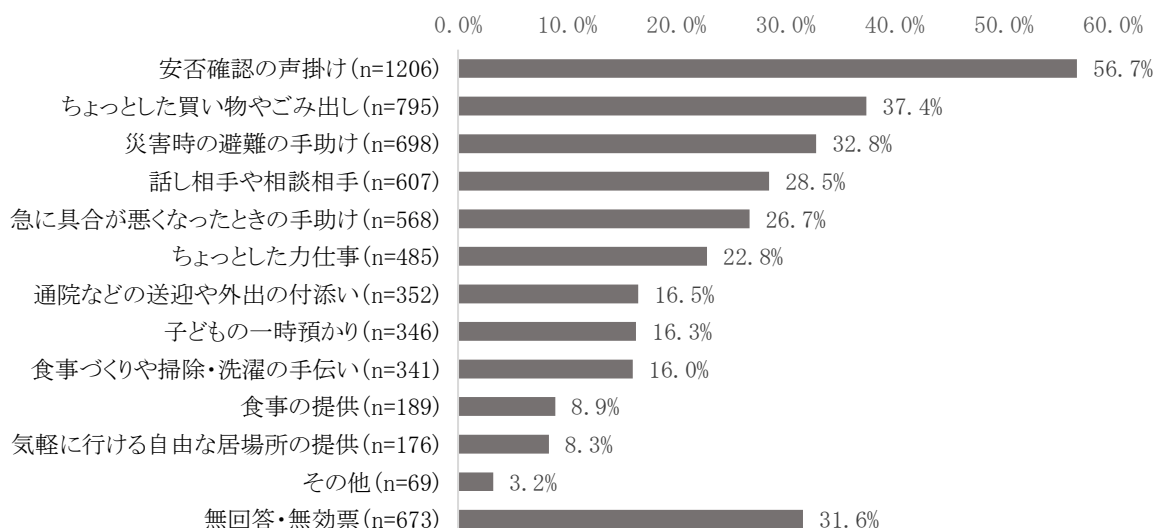


問 15 あなたは、地域の困っている人にどのような手助けができると思いますか。
また、少し困ったことがあった場合、地域から手助けしてもらいたいことはありますか。
(当てはまる項目に○はいくつでも)

○手助けできること

手助けできることは、「安否確認の声掛け」が 56.7%と割合が最も高く、次いで「ちょっとした買い物やごみ出し」が 37.4%となっている。以下、「災害時の避難の手助け」が 32.8%、「話し相手や相談相手」が 28.5%と続いている。

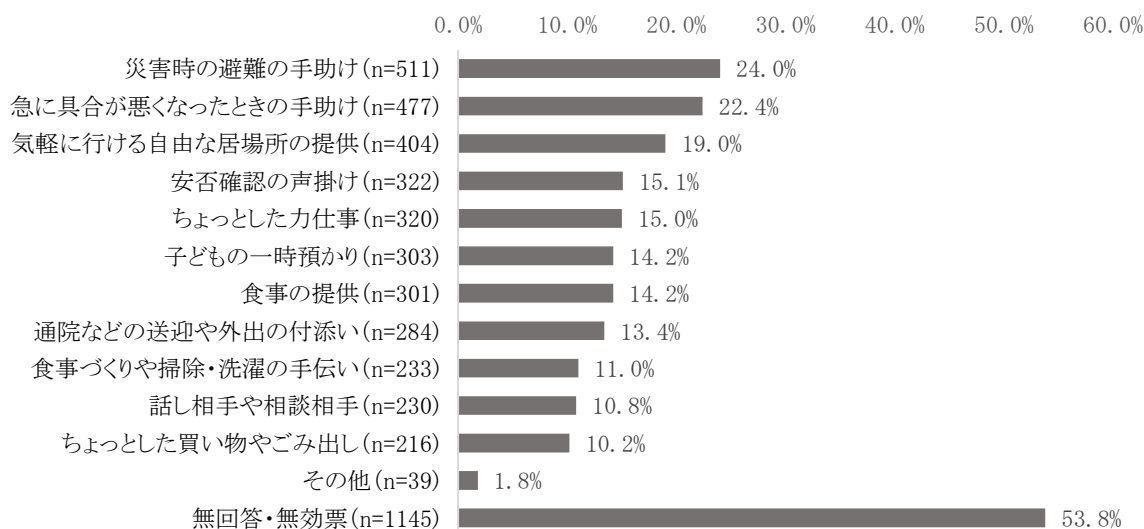
【全体集計】 n=2, 127



○地域に手助けしてほしいこと

手助けしてほしいことは、「災害時の避難の手助け」が 24.0%と割合が最も高く、次いで「急に具合が悪くなったときの手助け」が 22.4%となっている。以下、「気軽に行ける自由な居場所の提供」が 19.0%、「安否確認の声掛け」が 15.1%と続いている。

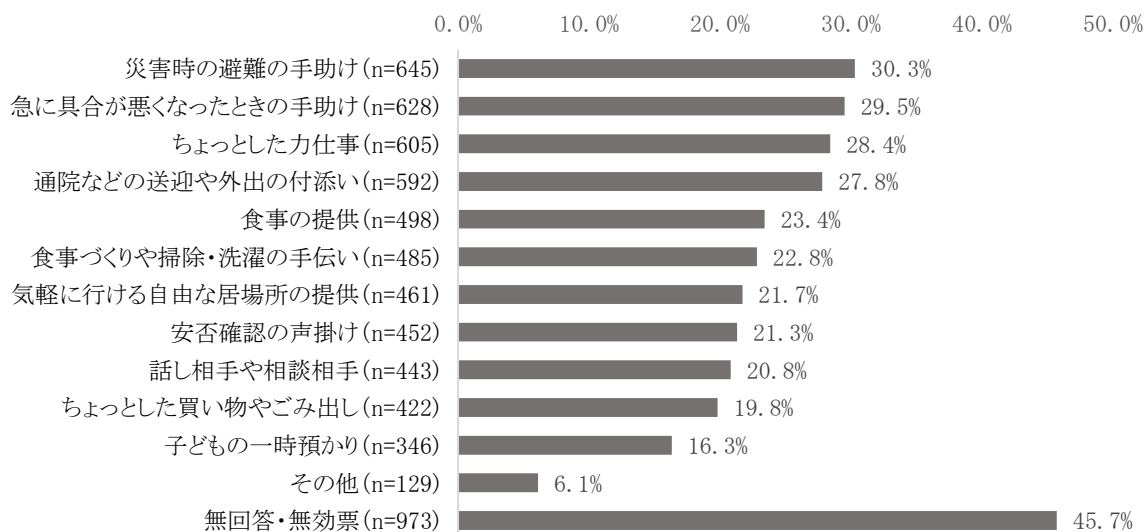
【全体集計】 n=2, 127



○将来、地域の手助けが必要になりそうなこと

将来手助けが必要になりそうなことは、「災害時の避難の手助け」が30.3%と割合が最も高く、次いで「急に具合が悪くなった時の手助け」が29.5%となっている。以下、「ちょっとした力仕事」が28.4%、「通院などの送迎や外出の付添い」が27.8%と続いている。

【全体集計】 n=2,127

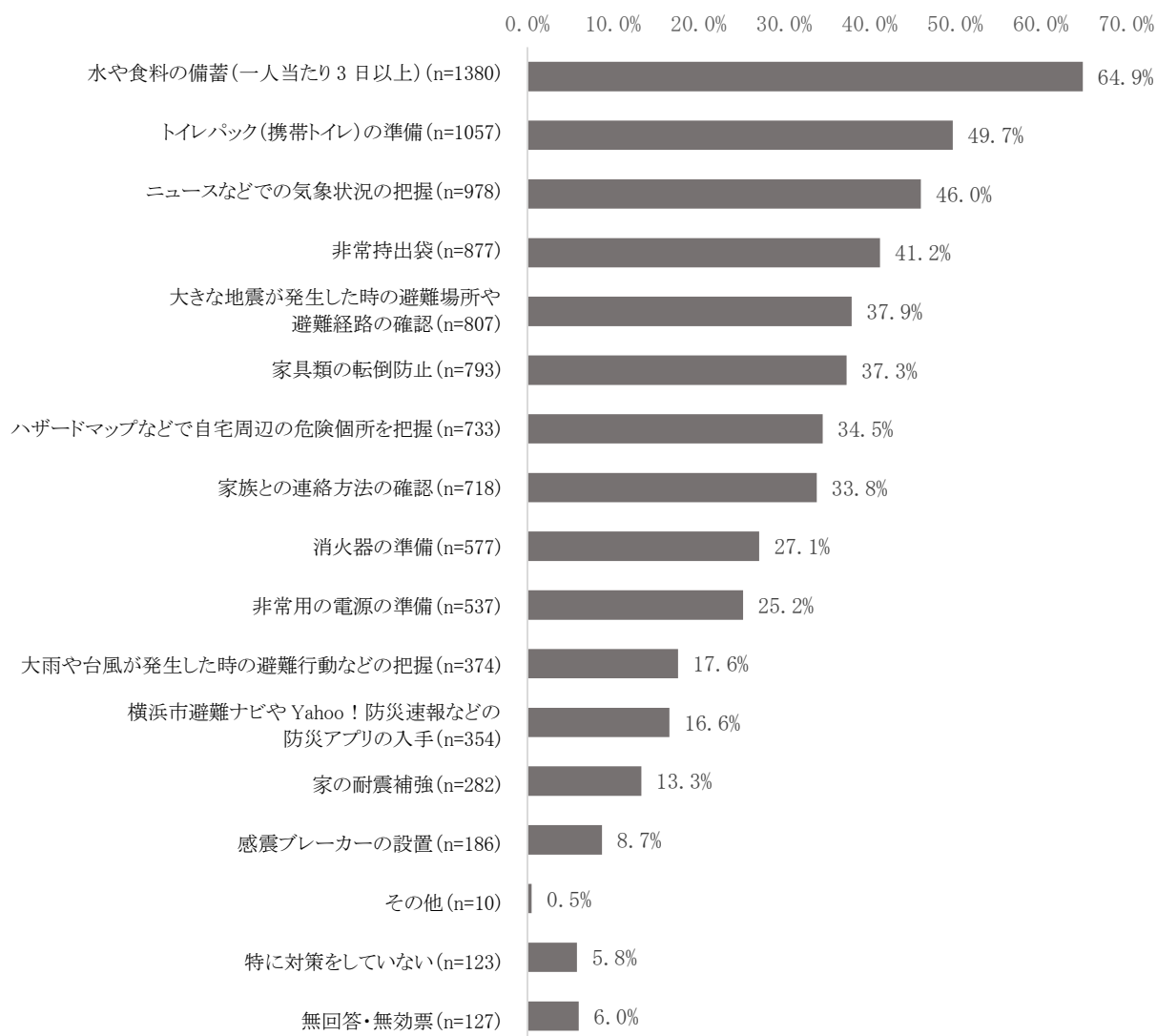


5. 防災・防犯について

問 16 あなたが実施している防災対策は何ですか。(〇はいくつでも)

実施している防災対策は、「水や食料の備蓄(一人当たり3日以上)」が64.9%と割合が最も高く、次いで、「トイレパック(携帯トイレ)の準備」が49.7%となっている。以下、「ニュースなどでの気象状況の把握」が46.0%、「非常持出袋」が41.2%と続いている。

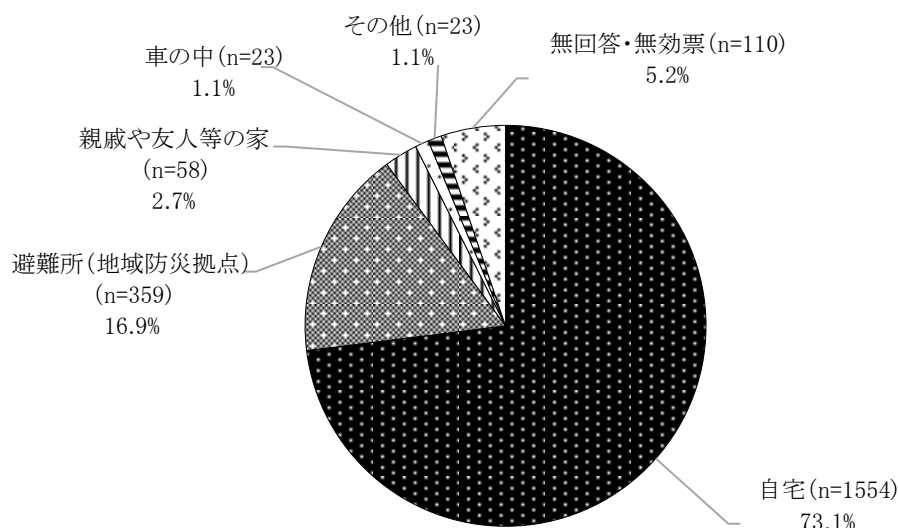
【全体集計】 n=2,127



問 17 大きな地震が発生したとき、あなたはどこで避難生活を送りたいですか。(○は1つだけ)

地震発生時どこで避難生活を送りたいかについては、「自宅」が 73.1%と全体の7割以上を占めており、次いで、「避難所（地域防災拠点）」が 16.9%となっている。以下、「親戚や友人等の家」が 2.7%、「車の中」が 1.1%と続いている。

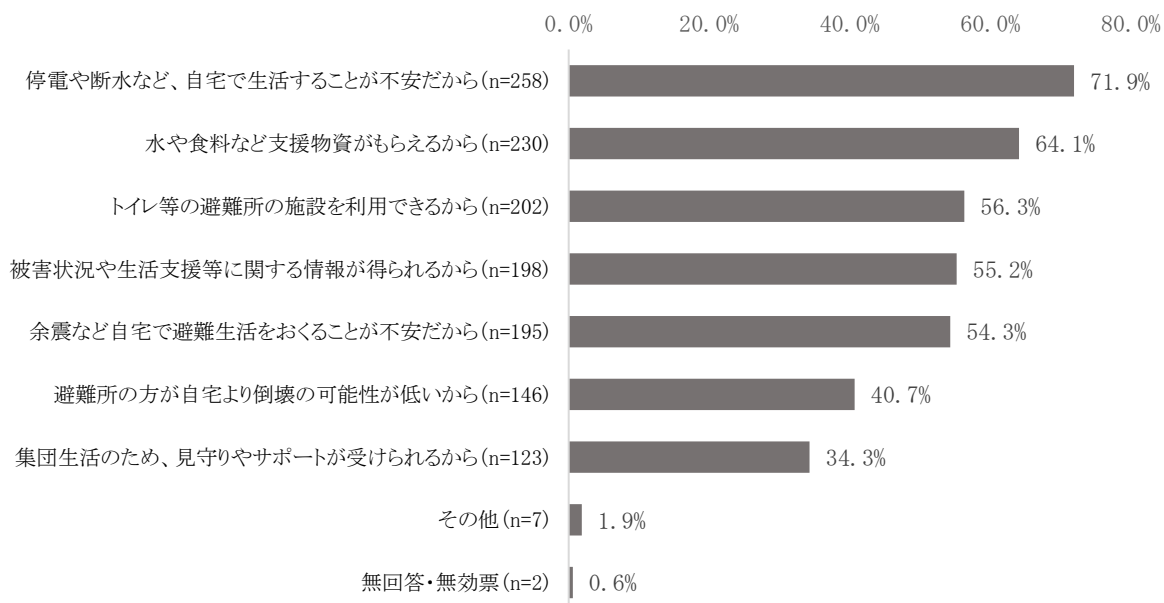
【全体集計】 n=2,127



問 17-1 避難所を選択した理由は何ですか。(○はいくつでも)
※問 17 で「2 避難所（地域防災拠点）」と回答された方へ

避難所（地域防災拠点）を選択した理由は、「停電や断水など、自宅で生活することが不安だから」が 71.9%と割合が最も高く、次いで、「水や食料など支援物資がもらえるから」が 64.1%となっている。以下、「トイレ等の避難所の施設を利用できるから」が 56.3%、「被害状況や生活支援等に関する情報が得られるから」が 55.2%と続いている。

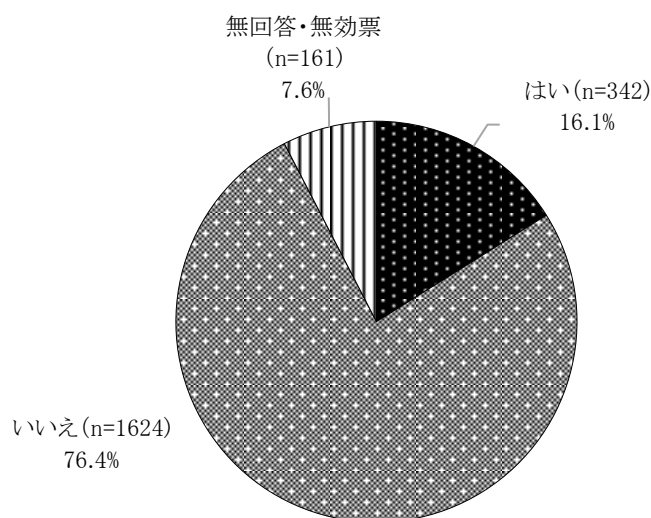
【全体集計】 n=359



問 18 あなたやあなたと一緒に住んでいる家族に、災害時要援護者の方はいらっしゃいますか。
(○は1つだけ)

あなたや同居の家族に災害時要援護者の方がいる割合は、「いいえ」が 76.4%と 7 割以上を占めており、「はい」が 16.1%となっている。

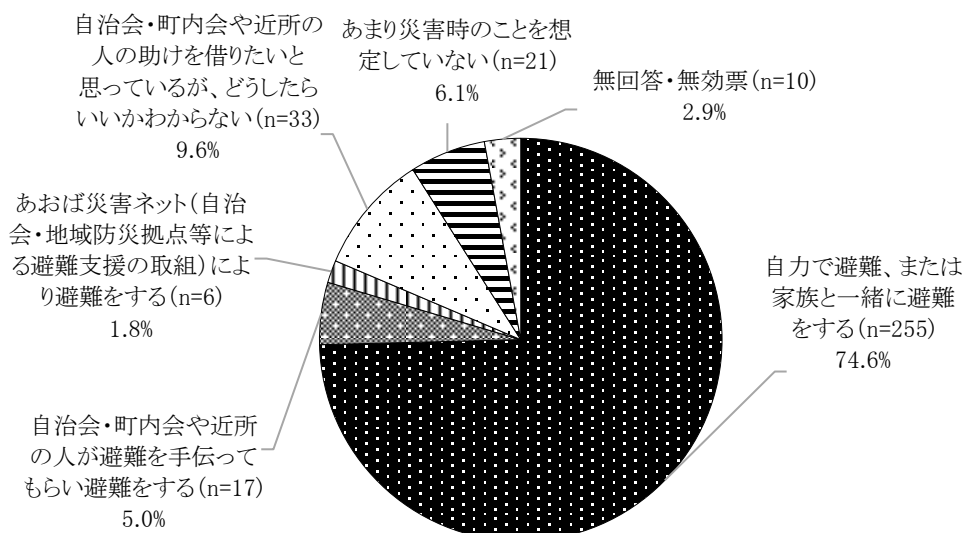
【全体集計】 n=2,127



問 18-1 あなたやあなたと一緒に住んでいる家族で、災害発生時の対応としてあてはまるものに○をしてください。(○は1つだけ)
※問 18 で「1 はい」と回答された方へ

災害時要援護者の方がいる場合の災害発生時の対応として、「自力で避難、または家族と一緒に避難をする」が 74.6%と割合が最も高く、次いで、「自治会・町内会や近所の人助けを借りたいと思っているが、どうしたらいいかわからない」が 9.6%となっている。

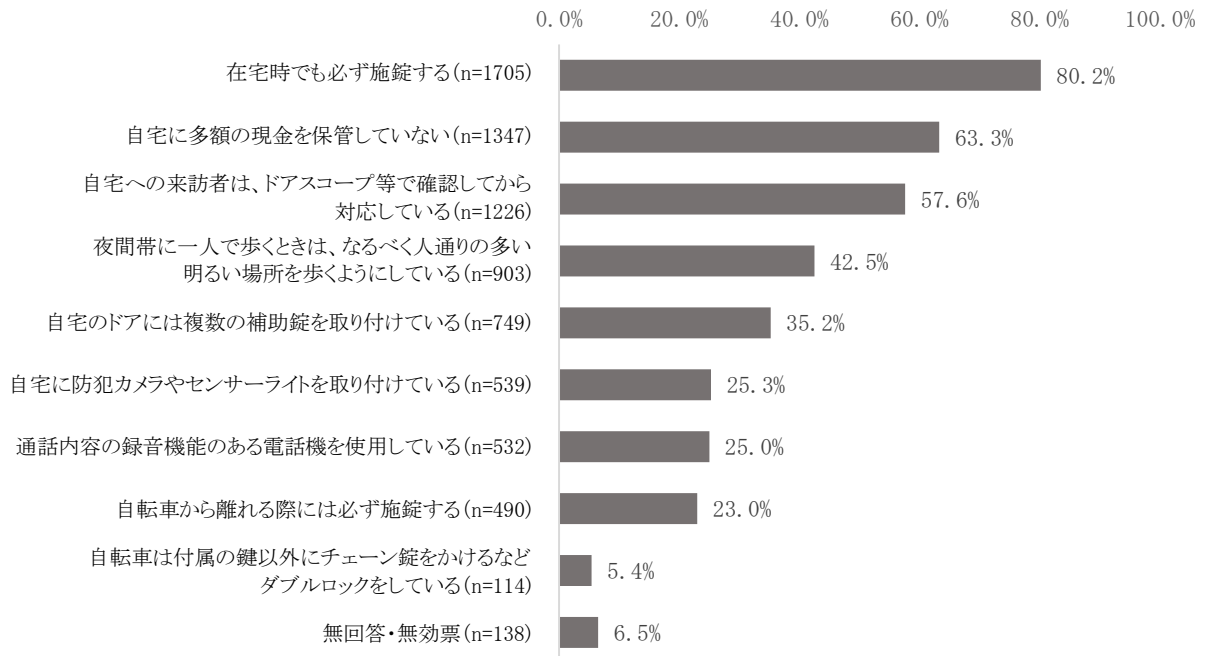
【全体集計】 n=342



問 19 あなたが実施している防犯対策は何ですか。(〇はいくつでも)

実施している防犯対策は、「在宅時でも必ず施錠する」が 80.2%と割合が最も高く、次いで、「自宅に多額の現金を保管していない」が 63.3%となっている。以下、「自宅への来訪者は、ドアスコープ等で確認してから対応している」が 57.6%、「夜間帯に一人で歩くときは、なるべく人通りの多い明るい場所を歩くようにしている」が 42.5%と続いている。

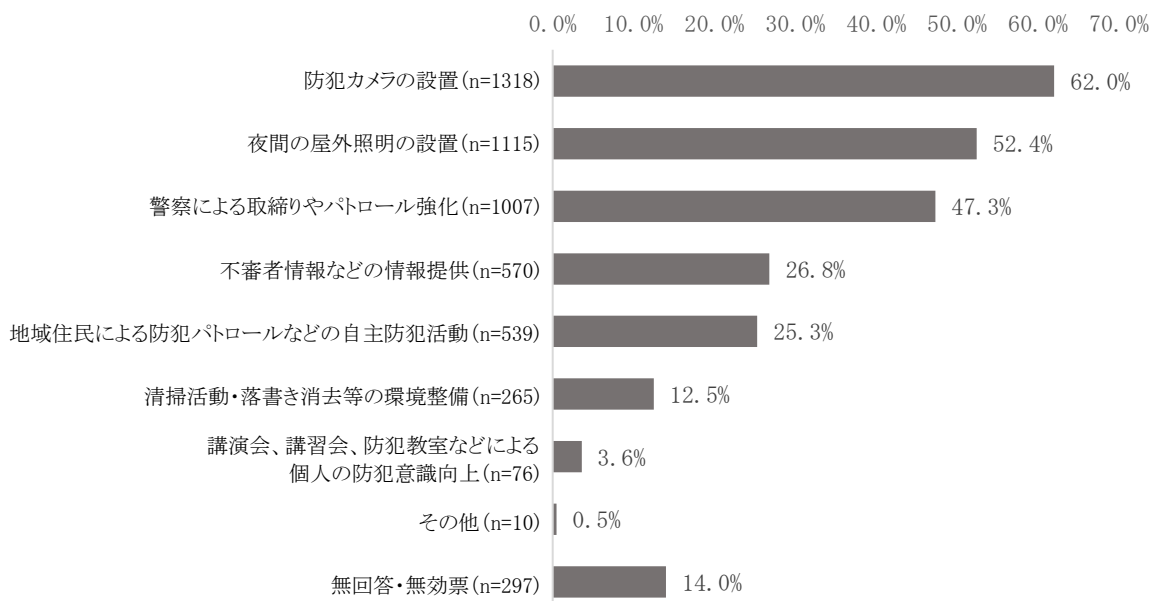
【全体集計】 n=2,127



問 20 地域の防犯対策として、どのようなことが効果があると思いますか。(〇は3つまで)

地域の防犯対策として効果があると思うことは、「防犯カメラの設置」が 62.0%と割合が最も高く、次いで、「夜間の屋外照明の設置」が 52.4%となっている。以下、「警察による取締りやパトロール強化」が 47.3%、「不審者情報などの情報提供」が 26.8%と続いている。

【全体集計】 n=2,127

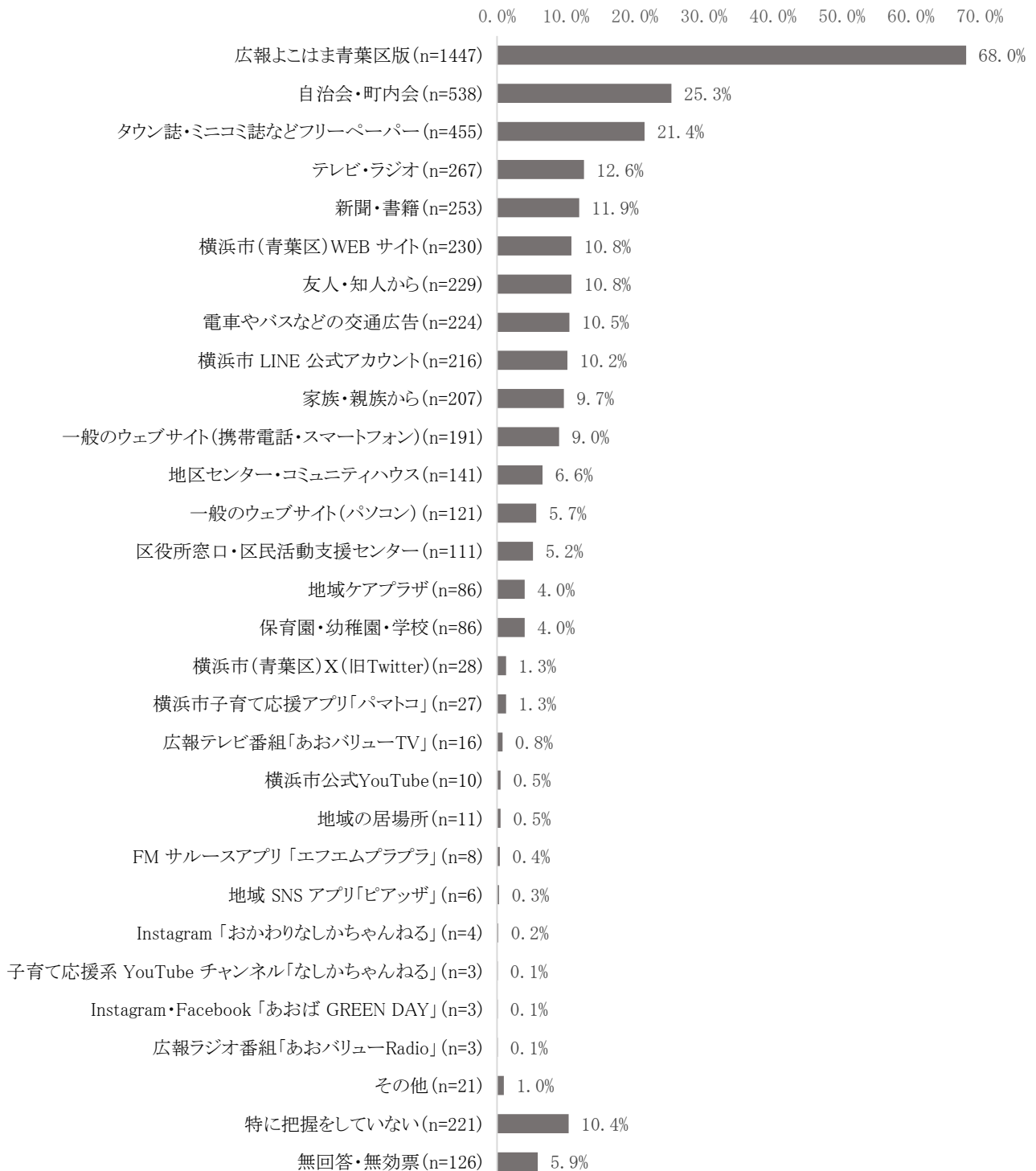


6. 広報について

問 21 あなたは、青葉区役所からののお知らせや地域情報をどこで知りますか。(〇はいくつでも)

青葉区からののお知らせ等の情報収集手段は、「広報よこはま青葉区版」が 68.0%と割合が最も高く、次いで「自治会・町内会」が 25.3%となっている。以下、「タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー」が 21.4%、「テレビ・ラジオ」が 12.6%が続いている。

【全体集計】 n=2, 127

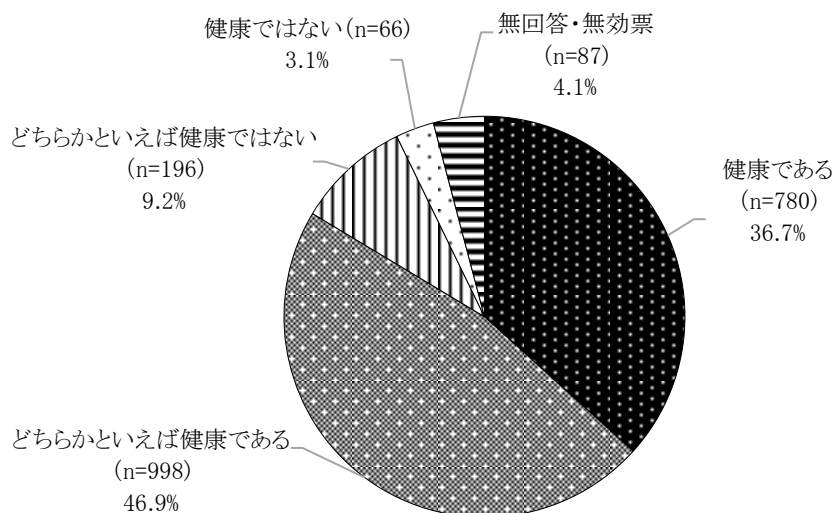


7. 健康について

問 22 あなたの健康状態はいかがですか。最近の状況に最も近いものに○をしてください。
(○は1つだけ)

健康状態は、「どちらかといえば健康である」が 46.9%と割合が最も高く、次いで「健康である」が 36.7%、この2つを合わせると8割以上となる。以下、「どちらかといえば健康ではない」が 9.2%、「健康ではない」が 3.1%と続いている。

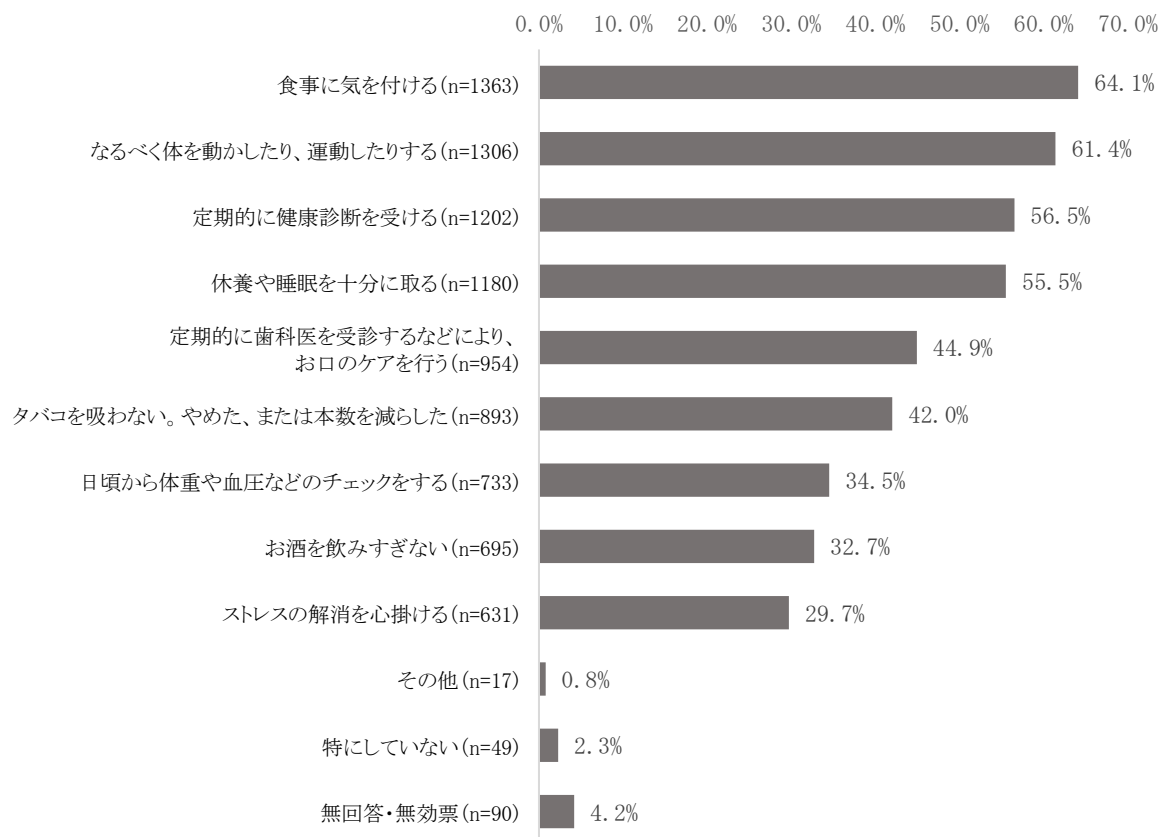
【全体集計】 n=2,127



問 23 あなたは、ご自身の健康のためにどのようなことに気を付けていますか。
※印の質問は、20 歳以上の方のみお答えください。(〇はいくつでも)

健康のために気を付けていることは、「食事に気を付ける」が 64.1%と割合が最も高く、次いで「なるべく体を動かしたり、運動したりする」が 61.4%となっている。以下、「定期的に健康診断を受ける」が 56.5%、「休養や睡眠を十分にする」が 55.5%と続いている。

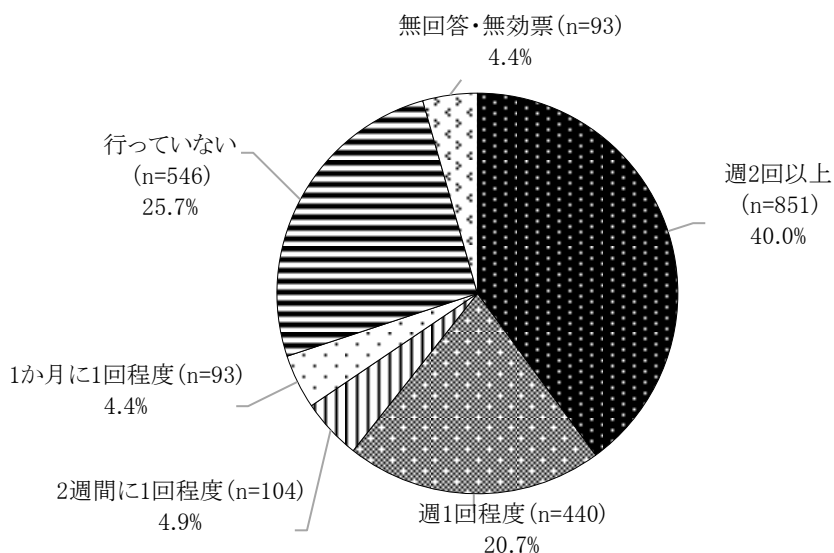
【全体集計】 n=2,127



問 24 あなたは、1 回 30 分以上の運動をどのくらいの頻度で行っていますか。(○は 1 つだけ)

1 回 30 分以上の運動の頻度は、「週 2 回以上」が 40.0%と割合が最も高く、次いで「行っていない」が 25.7%となっている。以下、「週 1 回程度」が 20.7%、「2 週間に 1 回程度」が 4.9%と続いている。

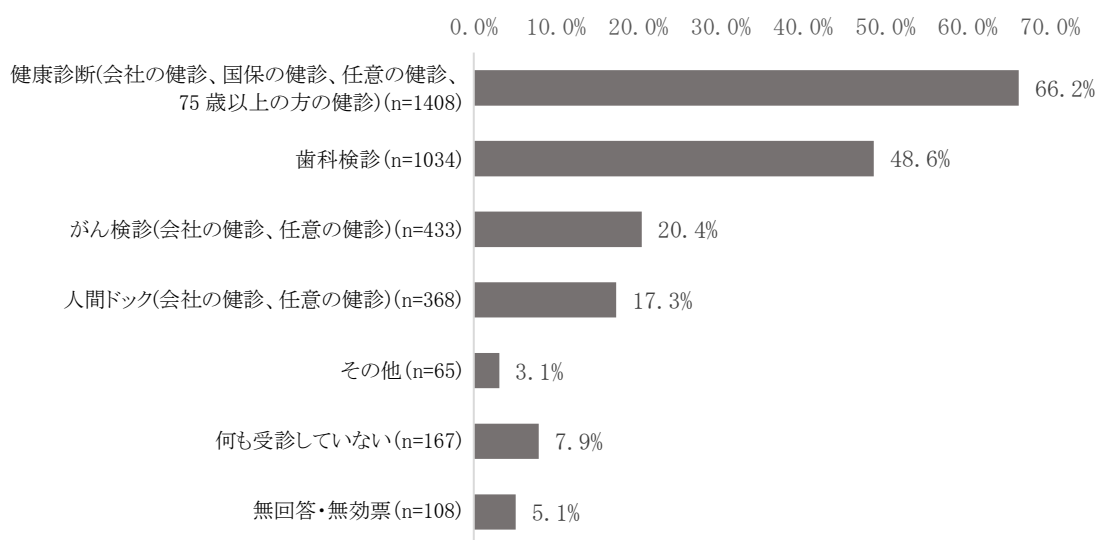
【全体集計】 n=2, 127



問 25 概ね過去 1 年以内に受診した健診・検診はありますか。(○はいくつでも)

過去 1 年以内に受診した健診・検診は、「健康診断(会社の健診、国保の健診、任意の健診、75 歳以上の方の健診)」が 66.2%と最も高く、次いで「歯科検診」が 48.6%となっている。以下、「がん検診(会社の健診、任意の健診)」が 20.4%、「人間ドック(会社の健診、任意の健診)」が 17.3%と続いている。

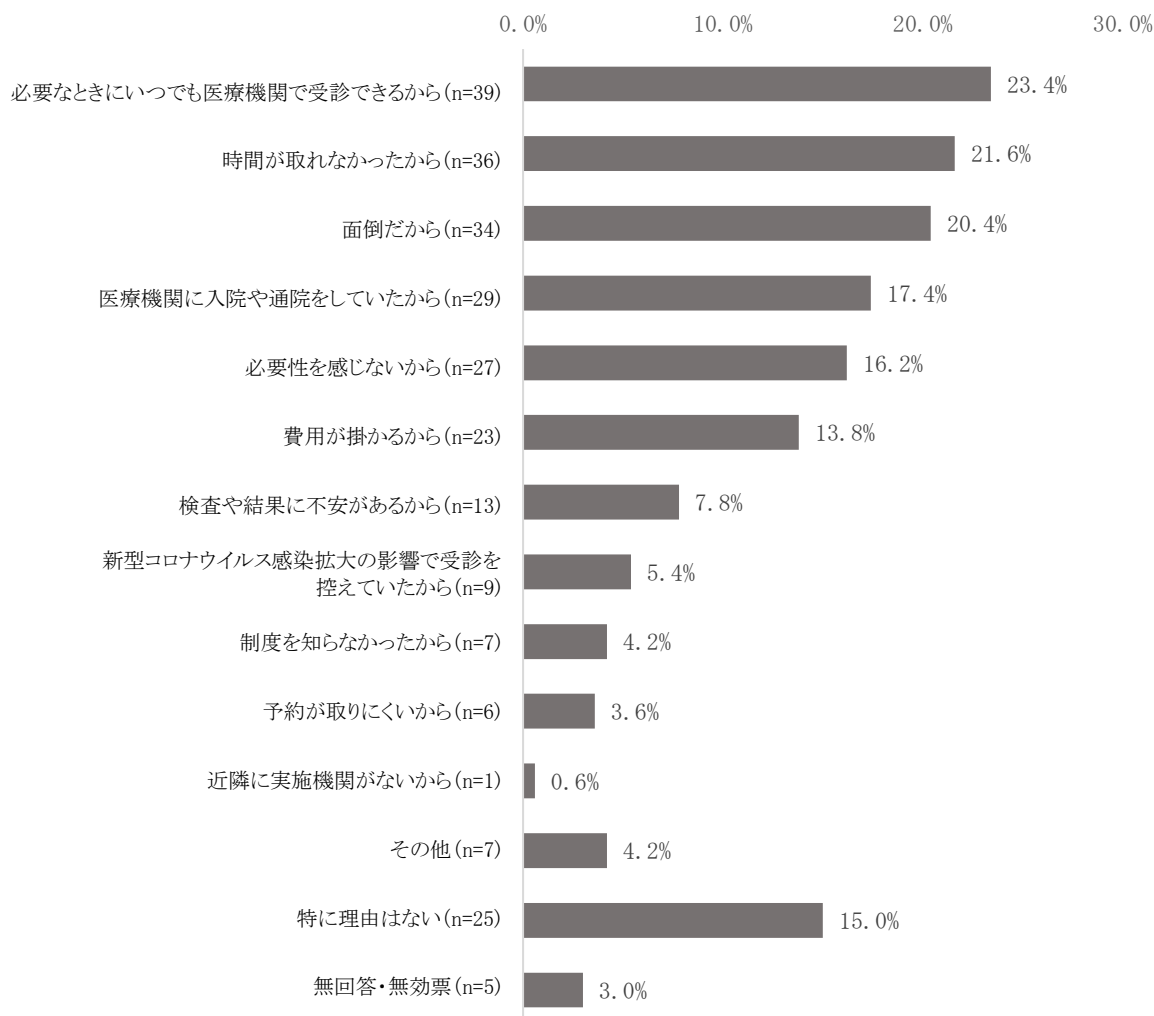
【全体集計】 n=2, 127



問 25-1 受診していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)
※問 25 で「6 何も受診していない」と回答された方へ

受診していない理由は、「必要なときにいつでも医療機関で受診できるから」が 23.4%と最も高く、次いで「時間が取れなかったから」が 21.6%となっている。以下、「面倒だから」が 20.4%、「医療機関に入院や通院をしていたから」が 17.4%と続いている。

【全体集計】 n=167

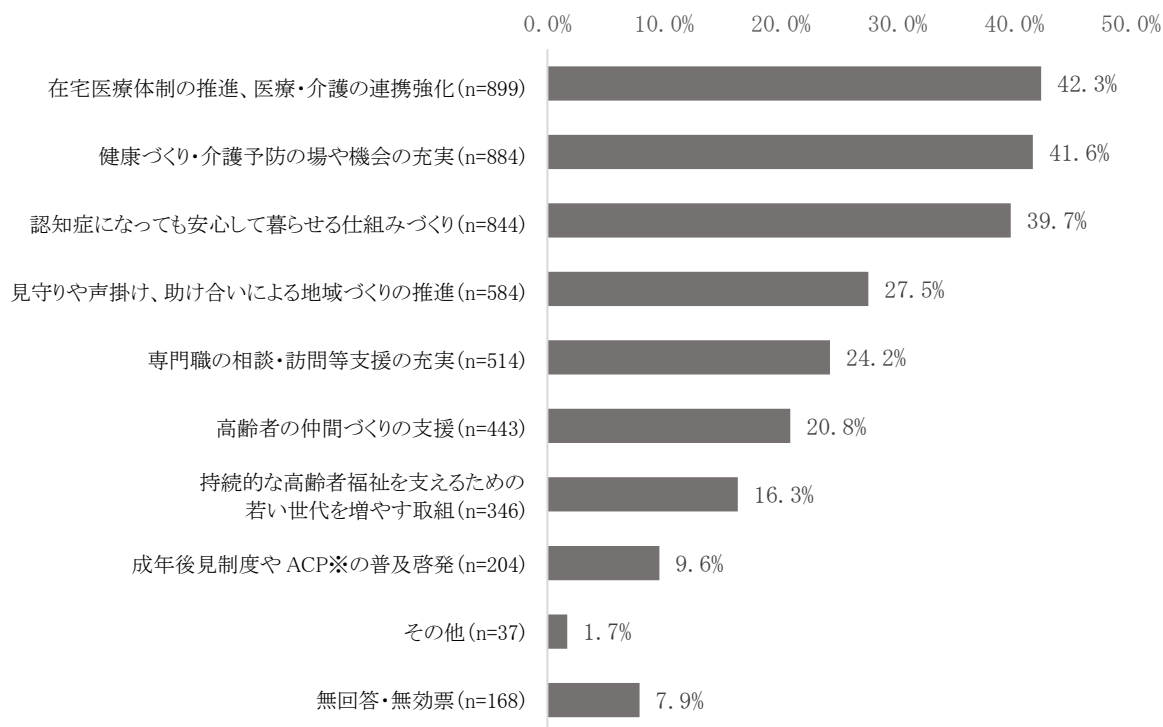


8. 高齢化対策・障害者支援について

問 26 今後、高齢者人口が増加する中で、青葉区はどの施策に力を入れていくべきと思いますか。
(〇は3つまで)

どの施策に力を入れていくべきかについて、「在宅医療体制の推進、医療・介護の連携強化」が 42.3%と割合が最も高く、次いで「健康づくり・介護予防の場や機会の充実」が 41.6%となっている。以下、「認知症になっても安心して暮らせる仕組みづくり」が 39.7%、「見守りや声掛け、助け合いによる地域づくりの推進」が 27.5%と続いている。

【全体集計】 n=2,127

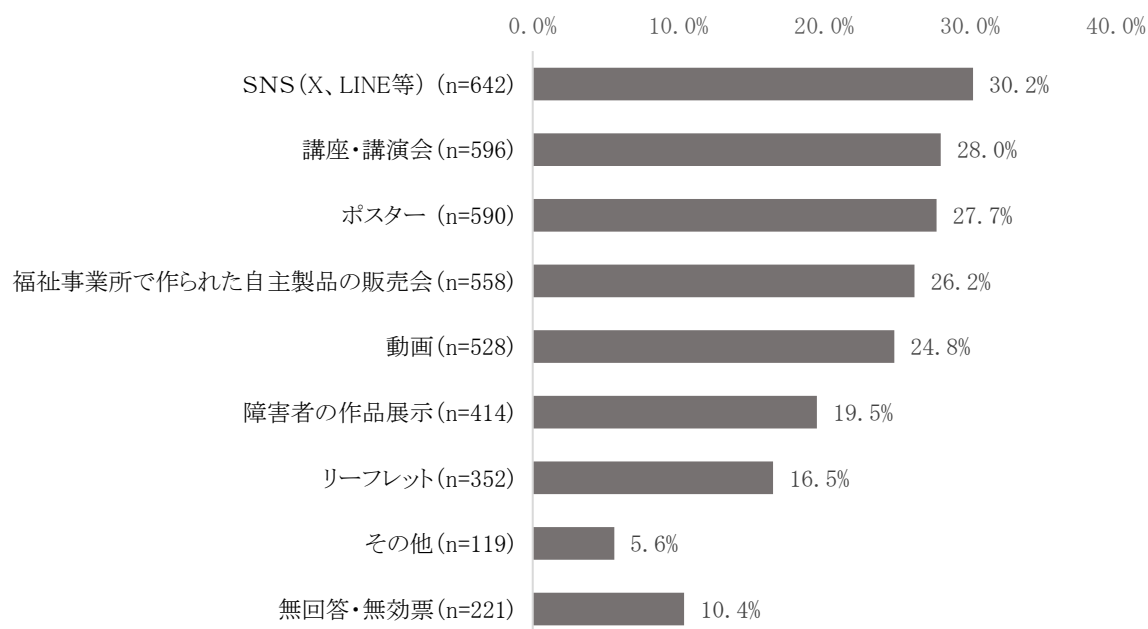


※ACP: もしものときにどのような医療やケアを望むのか、前もって考え、家族や信頼する人、医療・介護従事者たちと繰り返し話し合い、共有する「人生会議 (アドバンス・ケア・プランニング)」の略称

問 27 あなたは、どのような取組があると障害者への理解が進むと思いますか。
(〇はいくつでも)

どの取組があると障害者への理解が進むかについて、「SNS (X、LINE 等)」が 30.2%と割合が最も高く、次いで「講座・講演会」が 28.0%となっている。以下、「ポスター」が 27.7%、「福祉事業所で作られた自主製品の販売会」が 26.2%と続いている。

【全体集計】 n=2, 127

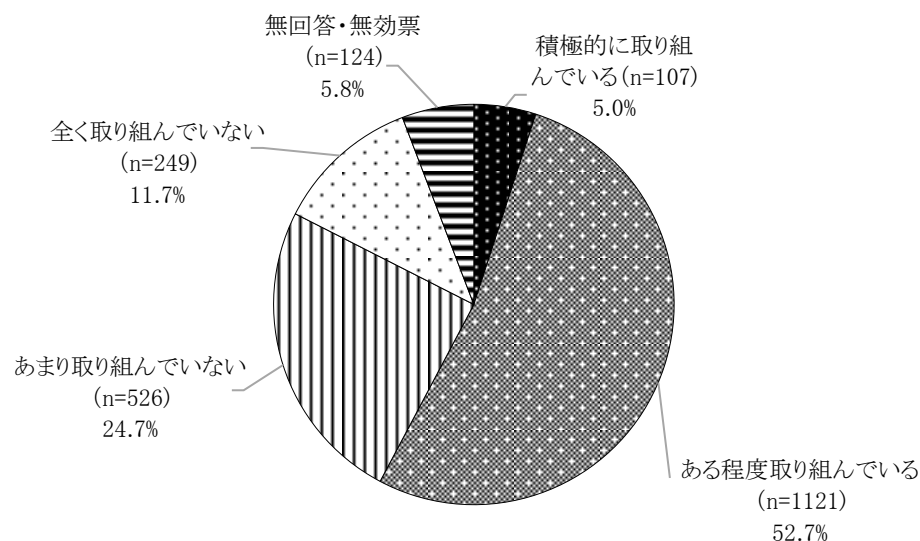


9. 脱炭素化に向けた取組について

問 28 あなたは、「脱炭素化」に向けた取組について、どの程度取り組んでいますか。
(○は1つだけ)

脱炭素化に向けた取組について、「ある程度取り組んでいる」が52.7%と割合が最も高く、次いで「あまり取り組んでいない」が24.7%となっている。以下、「全く取り組んでいない」が11.7%、「積極的に取り組んでいる」が5.0%となっている。

【全体集計】n=2,127

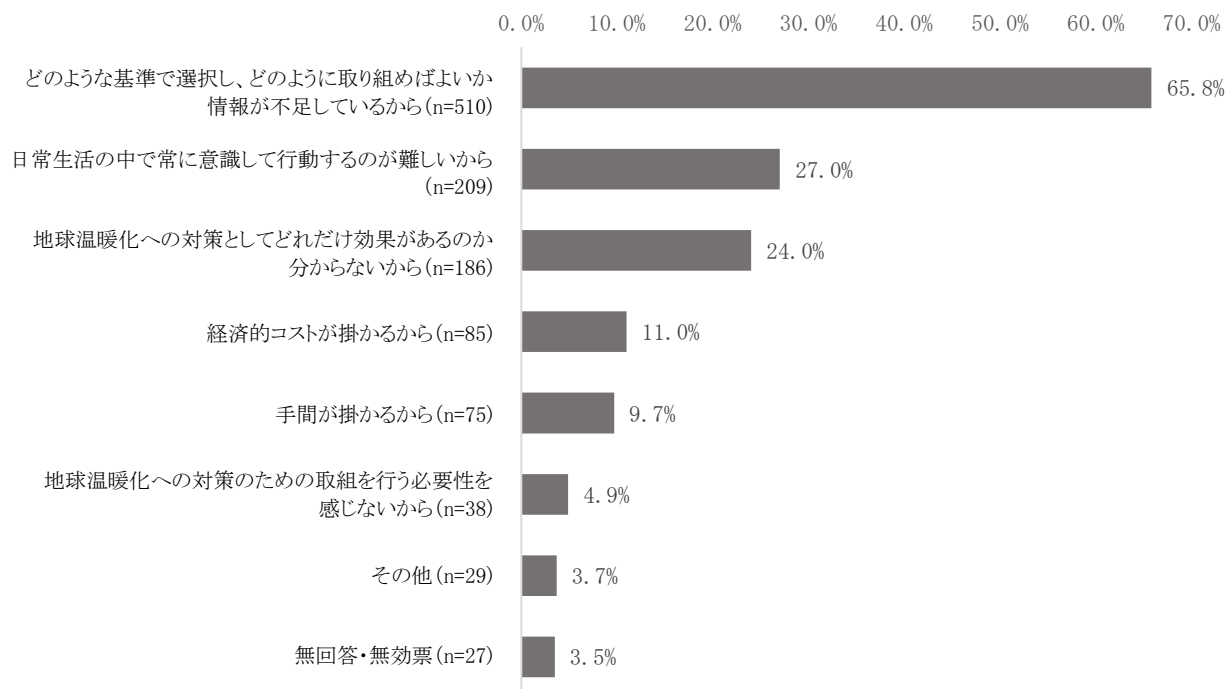


問 28- 1 その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

※問 28 で「3 あまり取り組んでいない」、「4 全く取り組んでいない」と回答された方へ

取り組んでいない理由は、「どのような基準で選択し、どのように取り組めばよいか情報が不足しているから」が 65.8%と割合が最も高く、次いで「日常生活の中で常に意識して行動するのが難しいから」が 27.0%となっている。以下、「地球温暖化への対策としてどれだけ効果があるのか分からないから」が 24.0%、「経済的コストが掛かるから」が 11.0%と続いている。

【全体集計】 n=775

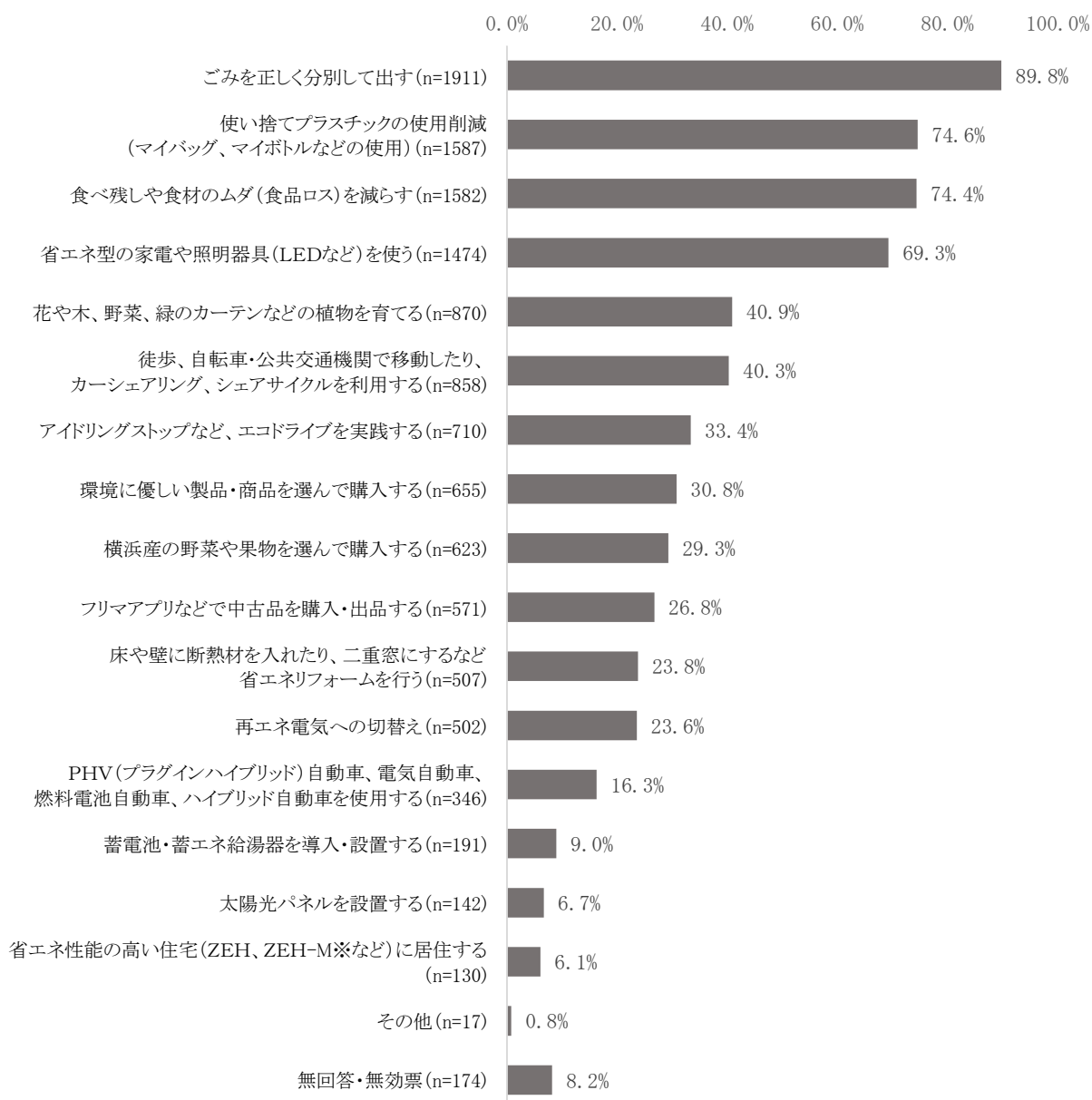


問 29 あなたが「脱炭素化」につながる行動で既に取り組んでいること、今後取り組んでみたいと思うことはありますか。（当てはまる項目に○はいくつでも）

○既に取り組んでいること

脱炭素化に向けて既に取り組んでいることは、「ごみを正しく分別して出す」が 89.8%と割合が最も高く、次いで「使い捨てプラスチックの使用削減（マイバッグ、マイボトルなどの使用）」が 74.6%となっている。以下、「食べ残しや食材のムダ（食品ロス）を減らす」が 74.4%、「省エネ型の家電や照明器具（LEDなど）を使う」が 69.3%と続いている。

【全体集計】 n=2,127

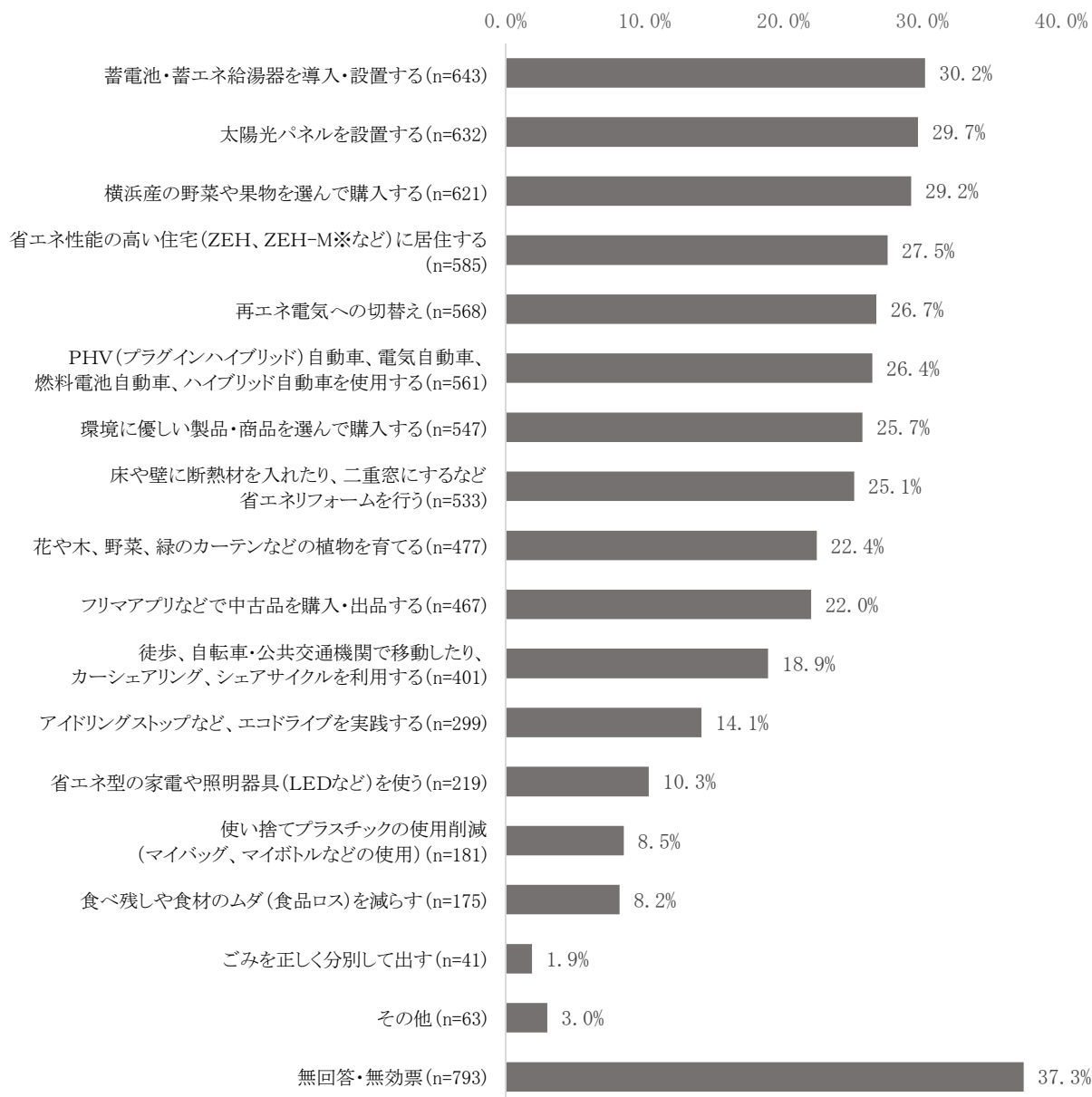


※ZEH（ゼッチ）とは、「ネット・ゼロ・エネルギーハウス」の略称で、住宅の高断熱化、高効率設備により消費エネルギーを減らし、太陽光パネルでエネルギーを作ることによって年間の消費エネルギーがゼロになる住宅をいいます。ZEHは戸建・マンションの住戸を対象とし、ZEH-Mはマンションの住棟を対象としています。

○今後取り組んでみたいと思うこと

脱炭素化に向けて今後取り組んでみたいと思うことは、「蓄電池・蓄エネ給湯器を導入・設置する」が30.2%と割合が最も高く、次いで「太陽光パネルを設置する」が29.7%となっている。以下、「横浜産の野菜や果物を選んで購入する」が29.2%、「省エネ性能の高い住宅（ZEH、ZEH-Mなど）に居住する」が27.5%と続いている。

【全体集計】 n=2,127



10. DX（デジタル・トランスフォーメーション）について

問 30 あなたが区役所のデジタル化に期待する分野・サービスは何ですか。（〇はいくつでも）

区役所のデジタル化に期待することは、「区役所に行かなくても申請や届出ができるサービス」が79.2%と割合が最も高く、次いで「窓口サービスの充実（待ち時間の短縮、窓口予約、混雑状況のお知らせなど）」が56.5%となっている。以下、「知りたい情報をいつでも簡単に検索できる機能の充実」が43.2%、「災害や感染症に関する情報など緊急情報の迅速な提供」が42.5%と続いている。

【全体集計】 n=2,127

